

# 五稜



第 44 号 (平成16年度)

函館市立五稜中学校生徒会

# 五稜中学校校歌

小 島 昌 平 作詩  
酒 井 武 雄 作曲

J-108-112



一 ひんがしに 古城のまへ  
ただなる 五稜が丘に  
若人の 息吹き 満ちぬ  
形よ ふうふうと なるれ  
新しや 光に 立て  
大いなる 力 伴は さん  
二 さくら花 一と 仰ぎ  
友が 堅く 結びて  
うらやま 自主の 鐘の 音  
ひびく 理想の 姿  
あゝ 夢に われ 守え くれ

表紙絵



# 行事から ～Part 1～



入学式



入学式



体育大会



体育大会



体育大会



中体連陸上壮行式



水谷先生 講演会



校外清掃

# 行事から ～Part 2～



中体連(野球)



中体連(バスケ)



野外劇



野外劇



宿泊研修(ホテル)



宿泊研修(ホテル)



宿泊研修(開陽丸)



宿泊研修(大沼)



# 修学旅行



修学旅行（列車）



修学旅行（列車）



修学旅行（ふねの中で……）



修学旅行（くぼうち SP）



修学旅行（食事）



修学旅行（カラオケ）



修学旅行



修学旅行（メリーゴーランド）

# 文化祭



合唱コンクール



吹奏楽部演奏



私の主張



コロボックル



文化祭（はぐれとゆかいな仲間たち）



熱唱



生徒会企画B



文化祭（PTAバザー）



# MOKUJI

|                          |               |
|--------------------------|---------------|
| グラビア写真                   |               |
| 巻 頭 詩 .....              | 1             |
| 私の中学時代 .....             | 校長 田村 順子 2    |
| 大切な「今」というときを、輝いて。 .....  | PTA会長 中谷 直子 3 |
| 卒業を祝して .....             | 教頭 青木 昌史 3    |
| 生徒会テーマ&ポスター .....        | 4             |
| 生徒会新総務 ～この一年にむけて～ .....  | 5             |
| 生徒会旧総務 ～一年をふりかえって～ ..... | 7             |
| 生徒会一年のあゆみ .....          | 9             |
| 専門委員会 ～活動報告～ .....       | 12            |
| 卒業生へ贈る言葉 .....           | 18            |
| 卒業生へ贈る ～在校生より～ .....     | 23            |
| 在校生へ贈る ～卒業生より～ .....     | 24            |
| 部 活 動 一年間の活動記録 .....     | 25            |
| 栄誉を讃えて .....             | 31            |
| 美術作品集 .....              | 32            |
| 思い出をこのページに残して .....      | 33            |
| 修学旅行 .....               | 40            |
| 宿泊研修 .....               | 44            |
| 西部地区探索記<1年総合> .....      | 46            |
| 学級プロフィール ～1年～ .....      | 48            |
| 学級プロフィール ～2年～ .....      | 50            |
| 校外学習体験記 .....            | 52            |
| 文 苑 .....                | 55            |
| ・私の主張                    |               |
| ・俳 句                     |               |
| ・短 歌                     |               |
| ・川 柳                     |               |
| 教職員名簿 .....              | 62            |
| 編集後記 .....               | 63            |

# 空模様

三年A組 大林希実

いつもと違う 空の色

いつもと違う 白い雲

この時間に生きてこれて よかった

この空の下で みんなと笑いあえて よかった

そう思えるのは

“今” という時間が

幸せだからだよ





## 私の中学時代

校長 田村順子

中学校を卒業したのは、もう遠い昔である。

登校時はいつも友人宅へ寄り、共に学校への数分を会話の有無に関わらずのんびりと歩いた。四季の移り変わりが何故かなつかしく色を添えて思い出される。

先生方にはそれなりの威厳があり、温和でゆったりとしていて安心感を覚えた。一人一人の個性があり、結構似合っているあだ名があった。学習に関しては、やはりプロである。評価も手厳しい。現在同様、テスト後の緊張感は、学年の順位も含めドキドキしたものである。放課後は、毎日クラスで友人と語ったものだ。自分のこと、友人のこと、クラスのこと、進路のこと、家族のこと、そして、思いを寄せている人のことなど・・・。

三年間、放課後は部活動に明け暮れた。帰宅しても両親は仕事を持っているため迎えてくれる人がいなく、それなりに寂しかったものだ。だから、下校してもすぐ部活動の準備をしてまた学校へ急ぐという具合で、二時間ほど練習をし帰宅すると、やっと家族の顔を見られ安堵感を覚えたものだ。中体連は自分の出場する種目しか応援できなかったが、とても充実していた。他の種目の活躍は、その後のクラスの話題であり、みんな頑張った様子が展開されていた。

修学旅行は、東京への三泊四日。青函連絡船の船旅は天候に左右されるもので、船酔いをする私はすぐに横になり寝ることに努めた。帰路、穏やかな日の大海原は、自然の醍醐味を全身で味わう絶

好のチャンス。イルカやトビウオに遭遇すると、それはもう大歓声である。青森・東京間は往復とも車中泊である。通路に敷物を敷き横になったが、列車の振動を直接感じながら、時にはトイレへと向かう友の足が体をまたいで行く。そんななかで中途半端な眠りについたものだ。やはり疲れた。だが、東京の旅は楽しかった。東京タワーや国会議事堂、夜は担任の先生を先頭に街を散策した。旅館は、当時の修学旅行生を泊めるのにふさわしいのか年数の経った古い宿で、廊下も歪んでいたように記憶する。でも楽しかった。

卒業後の進路は、自分の成績とのにらめっこで、学校では冬休みの初日から、希望者を対象にした補習授業を開設してくれた。講師は、もちろん自校の先生方である。何回かの一斉テストが組み込まれ、その結果で受験校が見えた。その時の担任の先生との個人懇談はやはり冷や汗ものである。しかし、目指す方向がより鮮明になり、あとは努力するのみで、意外に安心したものだ。

進学校が決まって入学式を迎える前の数日間は、かけがえのない開放感を味わった。「自分はもう高校生になるのだ」というその後の厳しさも知らず、ただ優越感に浸っていた。

あれから多くの月日が流れた・・・。

高校の制服を一緒に注文しに行ってくれた母も、教員として社会に巣立ったことを心から喜んでくれた父もすでに他界してしまっただ。大学で合唱団の指揮や伴奏をしていた弟も今はもういない。しかし、時代の変化や周辺の人との交わりがどう変わるうとも、中学校時代の思い出も家族の絆も、当時のまま心に生き続けている。

五稜中学校の諸君、思い出を胸に、それぞれが目指す道を

「前向きに、たくましく、生き生きと輝き続けてほしい。」



## 大切な「今」というときを、輝いて。

PTA会長 中谷直子

卒業を迎える三年生のみなさん。心ときめかす、新しい春がめぐってきました。今のこの一秒一秒はあなたたちにとって宝物ですね。この世に生を受けてからは十五年の間、あなたたちの後ろには、いつも優しくみつめる眼があったでしょう。転んだときに助け起こしてくれた手があったはず。でもときには大きなつぶてで打ちのめされ痛い思いもしてきましたね。季節が移り変わるように同じ日々を繰り返してきただけでなく、あなた方は少しずつ少しずつ、たとえば高いところに手が届くように背をのびし、もっと大きな何かを見るために目を開き、みえないものを感じられるように心を広げてきたんだよね。そう、生まれる前からの約束の通りに。大切に守られながら教わってきた事がたくさんあるでしょう？そうやって話す言葉を獲得し、思いを深くし、あなたの歩む道が決まってきたのです。ていねいに積み重ねてきたこれまでの日々が、みんなをたくましく、強く、海のように広がる心をもつひとりりひとりのまで見守っているのです。そういう時間の一番新しい局面に今、あなたたちは立っています。これから先だっておなじこと。自信を持つって素晴らしいことだけれど、何もないとところからただやみくもに湧いてくるわけじゃないよね。胸を張って成功をつかむには、するべき事をきっちりする、基礎を積み、学ぶ。力を出し惜しみしない。そうしてやっと手が届く喜びつものがあります。その喜びをこれから先幾度も幾度も手に入れて下さい。この五稜中での三年間でその為の底力が必ずや蓄えられたことでしょう！



## 卒業を祝して

教頭 青木昌史

この気もちはなんだろう  
目に見えないエネルギーの流れが  
大地からあしのうらを伝わって ほとくの腹へ胸へそうしてのどへ  
声にならないさけびとなってこみあげる  
.....  
ほくほくどかしい 地平線のかたへと歩きつづけたい  
そのくせこの草原の上でじっとしていたい  
大声でだれかを呼びたい そのくせひとりで黙っていたい  
この気持ちにはなんだろう 谷川俊太郎「春に」より

この詩は卒業を迎えたみなさんの心そのものではないでしょうか。せき止められない踏み出そうという気持ちと、でも、心のどこかでまだこのままでもいいという切ない気持ち。成長しようと言うときはそんな感覚なのです。「春」という季節が与えてくれる新しいエネルギーの源は自らの内にあるのだということ、さらに、自らの力で新しい道を歩いていけるのだと言うことを、心にとどめてほしいと思います。「一期一会」という言葉があります。五稜中学校で3年間ともに学んだことも、偶然の出会いです。まわりの仲間たち、先生や職員の方々そしてみなさんを見守ってくれたまなび舎がみなさんのかけがえのない財産です。

卒業という、大きな節目の今、3年間みなさんの成長を支えてくれたすべてに感謝し、そして、それぞれの新たな夢と希望に向かって力強く一歩を踏み出してください。



平成16年度 生徒会テーマ

# Young Man

～ 若き今を生きろ ～



3年A組 渋川 亜以



2年B組 林 愛美



1年B組 高木 咲枝

# 生徒会新総務

～この一年にむけて～

+++++

| 会 計 |     | 書 記 |     | 副会長 |     | 会 長 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 吉 村 | 野 沢 | 高 木 | 工 藤 | 佐々木 | 干 場 | 相 田 |
| 舞 子 | 叔 弘 | 咲 枝 | 純 一 | ゆ い | 亮 佑 | 玲 歌 |

新生徒会総務



## 自分への挑戦

会 長 相 田 玲 歌

果たして私は、会長として一年間仕事をやりとげることができるのだろうか。会長になって数カ月経った今、改めてそう不安になる。書記として活動してきた一年間はもちろん大変な仕事もたくさんあったが、私を助けてくれる頼りになる会長がいた。そんな会長を見るたびに「すごいなあ」、「大変そうだなあ」と少しは他人事のようには思っていた自分が今は、はずかしく思える。いざ自分が会長になってみると、生徒会でも書記の時とはちがう責任感の重さがあるし、常にみんなの上に立って生徒会をまとめて行かなければならぬ、という任務の重大さがわかる。でも、そんな大変な仕事だからこそやりがいがあり、だから私は会長になることを決心した。

しかし、私にはもう一つテニス部部長という大切な任務があるのだ。この会長、部長という2つの両立は、やはり思った以上に大変だった。部活に熱中しすぎたら生徒会の仕事がおろそかになってしまふし、かといって部活への力もぬきたくない。でも生徒会の仕事も会長になったからにはきちんとやらなければならないのだ。だからこの二つの両立を、どうこなして行くかが私のこれからの課題だと思う。私は例えそれが不可能だとしても自分自身でやりとげると決めたのだから可能にしてみたい。自分がどこまでできるのか自分に挑戦してみたい。そして全てをやりとげた1年後、心の底からやってよかったと思える自分でいてほしい。

最後に、これから生徒会のメンバーと協力して頑張って行きますのでどうぞよろしくお願いします。

## 回 副会長になって

副会長 干場 亮 佑

前回は会計をつとめておりましたが、今度は副会長になることになりました。これからも、自分に与えられた仕事は責任を持ち、そして、普段の生活においてもけじめを持とうと思っています。さらに、副会長という自覚を持ち、しっかりと頑張りたいと思います。また、これからももっといい五稜中になるよう、ご協力お願いします。

## 回 副会長になって

副会長 佐々木 ゆ い

私は生徒会に入り、多くの事を学びたいです。仕事はとても大変だと思いますが、少しでも皆さんの役に立てるよう頑張っていこうと思います。大変だということは、これから初めての経験がで、新しい事をたくさん学べるチャンスだと思っています。これから約一年間、自分の仕事に責任をもち、生徒会のメンバーと協力しあい、自分の力を精一杯だし、皆さんが過ごしやすいよりよい学校にしていこうと思っているので、よろしくお願いします。

## 回 書記になって

書記 工藤 純 一

これから約一年間、書記を務めることになりました。仕事は大変ですが、木村先生や、生徒会の人々と頑張っていきたいです。

そして任期を終えた後「良い体験ができ、とても成長できました。」と言えるように頑張りますので、どうぞよろしくおねがいします。

## 回 生徒会書記として

書記 高木 咲 枝

私には生徒会書記としての責任があります。その責任を果たせるかどうかは、自分のこれからの頑張りにしだいです。

これから一年間どんなことが起こるかまったく解かりませんが、やるからには良い五稜中学校をつくりあげていきたいです。そして、みんなが「五稜中は良い所だな」と思えた時、初めてこの責任を果たしたことになるのだと思います。生徒会書記として、そして五稜中の生徒として、そんな学校を目指していきます。

## 回 会計になって

会計 野沢 叔 弘

生徒会会計になり約半年が過ぎようとしています。

僕は一年間みなさんの役に立つことをたくさんやっていきたいと思っています。うまくいかないことも、あるかもしれないですが、生徒会の仕事に力を入れ、一生懸命頑張っていきたいと思っています。そしてみなさんの役に立てるように生徒会の仕事をしていくので、どうぞよろしくおねがいします。

## 回 これからの目標

会計 吉村 舞 子

私のこれからの目標は「何事にもあきらめず挑戦する」ことを忘れないことです。学校では、日々の行事などたくさんすることがありますが、私は責任をもって生徒会の会計としての仕事を果たしたいと思っています。

これから私はみなさんの役に立てるよう、一生懸命がんばっていきますので、よろしくお願いします。



# 生徒会旧総務

～一年をふりかえって～

\*\*\*\*\*

| 会<br>計           | 書<br>記                | 副<br>会<br>長      | 会<br>長           |
|------------------|-----------------------|------------------|------------------|
| 干<br>場<br>亮<br>佑 | 村<br>山<br>れ<br>い<br>ら | 相<br>田<br>玲<br>歌 | 三<br>浦<br>花<br>奈 |
|                  |                       | 岡<br>本<br>勇<br>祐 | 田<br>中<br>德      |
|                  |                       |                  | 荒<br>田<br>恵<br>美 |

旧生徒会総務



「ありがとう」と、今思う

会長 荒田 恵美

生徒会の任期を終えたら、振り返ってみると色々なことがあった。1年前、まだ会長になりたてで満足に仕事をこなせず、メンバーとも喧嘩をし、思うようにいかず悩んでいた。こんなに苦労するなら、会長なんて辞めたいと思った時もあった。でも、そんな自分が自分の仕事を最後までやり抜けたのは、周りで支え続けてくれた人達のおかげだと思う。特に生徒会メンバーには本当にお世話になった。頼りない会長だった自分に協力してくれ、時には相談のつてくれたりと、感謝しきれないほど感謝している。初めは、どうなることかと心配していた生徒会も、今では本当に最高の生徒会だと思えます。メンバー一人一人も、とても成長した。最初の頃は、自ら動くということができなかったのに、いつの間にか自分達で判断し行動できていた。最初は喧嘩ばかりだった生徒会も、今ではすごく仲の良い生徒会となった。今の生徒会があるのは、ちょっと頼りない木村先生のおかげです。

最後に、先生方、全校生徒の皆さん、そして生徒会メンバー。今まで本当に有難うございました。今私は、心から生徒会をやっていた良かったと思います。生徒会は私の中学校生活に欠かせないものとなりました。この経験を生かし、これから頑張っていきたいです。

新生徒会総務の皆さん。これから先、大変なことも沢山あると思いますが、1年後、「この生徒会総務は最高だった」と思えるような本当に仲の良い生徒会になって下さい。そして、皆さんを中心とする、今までよりも、もっと素晴らしい五稜中学校を築きあげ、最後まで頑張ってください。応援しています!!

## ◎ 生徒会副会長を終えて

副会長 田 中 徳

生徒会副会長として活動してきたこの一年間は、あつという間に終わってしまった。初めは、わからない事ばかりですごく戸惑いましたが、他の生徒会メンバー達と協力して、無事おえることができました。すごくいい経験ができ、楽しい一年でした。本当にありがとうございました。

最後に、新生徒会総務の皆さんこれからもみんなで協力して、よい五稜中学校をつくりあげて下さい。

## ◎ あつという間の一年間

副会長 岡 本 勇 祐

生徒会総務として過ごした一年間はとても充実していました。この一年間をふり返ると色々なことも思い出されます。意見がまとまらず、メンバーと言いつ争いになった事。行事を終えてメンバーと共に喜び合った事。思えばたくさんさんの事が頭の中を走ります。今になって思えるのはこんなにも素晴らしいメンバーと出会え、仕事をやり、助け合っていたことは自分にとって一生に一度しかないとても良い経験だったということです。メンバーと先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。

## ◎ 生徒会の仕事を終えて

書 記 三 浦 花 奈

「生徒会書記として活動したこの一年は、私をとても成長させてくれました。

文化祭準備で夜おそくまで残ったり、学校外で活動をしたり、生徒会役員でなければ出来ない経験をたくさんすることが出来ました。辛いことも楽しいこともあり、本当に充実した一年だったと思います。一年間お世話になった、生徒会役員のみなさん、先生方、本当にありがとうございました。

## ◎ 書記を終えて

書 記 相 田 玲 歌

生徒会書記として過ごしたこの一年間は私にとってとても大きな一年でした。今まで体験したことのないたくさんさんの仕事を経験することができ自分自身、少しは成長できたのではないかと思います。もちろん生徒会の仕事は忙しく、もう一年、次は生徒会長として仕事をやりとげるのはとても大変なことだと思いますが旧生徒会で学んだことをいかし頑張って行こうと思います。最後にお世話になった旧生徒会のみなさん、先生方、本当にありがとうございました。

## ◎ 一年をふりかえってみて

会 計 村 山 れい ら

私は、この一年間生徒会会計を務めて、かけがえない思い出ができ、たくさん大切な事を学ぶことができました。自分の仕事に責任感をもつこと、助け合うこと、自分から積極的に行うことに取り組むことの大切さなどを、感じ、学ぶことができました。あと、生徒会のみなさんで力を合わせ心一つにして仕事をし、やり終えるたびに、きずなが深まっていくのを感じました。私は、生徒会の一員となれて本当によかったと思っています。

## ◎ 生徒会をおえて

会 計 干 場 亮 佑

生徒会を振り返ってみて、長いようで短い、そんな気がします。最初は仕事になれず、生徒会の雰囲気にもなれませんでした。

ずっとこんなような日々でした。でも、だんだんと仕事にもなれ、雰囲気にもなれてきました。文化祭では、さまざまな企画をたて、みなさんに楽しんでもらえました。ばくはとても嬉しかったです。生徒会のみなさんおつかれさまでした。

# 平成16年度 生徒会一年のあゆみ



今年度も残すところわずかとなりました。今年一年、みなさんはどう過ごしましたか？勉強や部活、各行事など忙しくも充実していたと思います。

このページでは、一年間のさまざまな生徒会活動を順番に紹介しながら振り返ってみました。

## ▼▼四月

### ◆入学式・1学期始業

小学校を卒業したばかりの、ういういしい新一年生が入学しました。小学校の学校生活とは色々な面で異なる中学校に、不安と大きな希望をもち、そして新しい目標を胸に3年間の五稜中学校でのスタートをきりました。

### ◆新入生歓迎会

一年生は、この会で初めて在校生と対面し、生徒会活動の内容や部活動についての説明を受けました。真剣に話を聞いていました。

### ◆認証式・専門委員会

各専門委員が選ばれ、活動が開始されました。

## ▼▼五月

### ◆生徒総会

今年のテーマ「Young Man、若き今を生きて」にのっとり、各クラスから意見を出し合い、今年の生徒会の目標や方針が決められました。

## ▼▼六月

### ◆第四十四回校内体育大会

それぞれ学年も変わり、新しいクラスになったばかりにもかかわらず、どのクラスも本心にすばらしい団結力を見せてくれました。個人競技でも、一人一人が精一杯頑張っていました。

前回から始まった長縄跳びでは、各クラス声をそろえて一つになってとんでいました。体育大会をかけて支えて下さった皆さん、有難うございました。今年も忘れることのない良い思い出になったと思います。



## ◇ 中体連陸上大会

体育大会などで選ばれた選手達は、毎日放課後残り、練習に臨みました。本番では、あたたかい声援につつまれながら練習の成果を発揮していました。

## ▼▼七月

## ◇ 中体連総合大会

運動部にとっては1番の目標となるこの大会。3年生は最後の大会ということで、3年間自分たちが学んだことを全て出しきりました。1・2年生はそんな3年生を声がかかるまで応援し、各部とてもすばらしい試合ぶりでした。

## ◇ 亀田川清掃

毎年行われている早朝からのボランティア活動。今年もたくさん生徒と地域の方が参加し、協力して亀田川の清掃につとめました。

## ◇ 一学期終業式

体育大会や中体連など、さまざまな行事があった一学期もあっという間に終わり、全校生徒がまことにあった楽しい夏休みへ。



## ▼▼八月

## ◇ 二学期始業式

夏休みも終わり、いよいよ新学期。最も長い二学期がスタートしました。

## ◇ 文化祭実行委員会発足

今年の文化祭テーマは「Young Man〜若き今を生きろ〜」専門委員長・代議員・生徒会総務で構成される実行委員会では、よりよい、楽しい、心に残る文化祭とするため、真剣な話し合いが行われました。実行委員会の文化祭に対する熱意が伝わってきました。

## ▼▼九月

## ◇ 台風

今年は例年以上に台風が発生し、各地で被害がありました。五稜中でも、北階段のおどりの窓枠が外れたり屋根が破損したりと、大変でした。

## ▼▼十月

### ◆第四十四回文化祭

今年も2日に分けて行われました。

一日目は、芸術ホールで行われる合唱コンクール。各学年、金賞を目指し音楽の授業やふれあいの時間を利用し、また朝早くから集まり、一生懸命練習にはげみました。合唱本番ではどのクラスもすばらしい歌声をひろうし、新たな感動が生まれました。

二日目は、校内で行われ、学年館や作品展もありました。私の主張ではとても良い発表が行われました。実行委員会企画では、たいへん盛り上がりしました。二日間とも最後には大きな拍手が生まれ、忘れることのできない文化祭となりました。

### ◆生徒会役員選挙・認証式

今年も七名が立候補し、演説では、それぞれの生徒会への決意をのべました。新生生徒会とともに、新たな活動がスタートしました。

## ▼▼十一月

### ◆生徒会誌編集委員会発足

今年も新旧生徒会と代議員を中心として、この生徒会誌「五稜」を制作しました。



## ▼▼十二月

### ◆二期終業式

長かった二期も終わりに冬休みへ入りました。

## ▼▼一月

### ◆三期始業式

冬休みも終わり、一年のしめくくりの最後の短い三期が始まりました。

## ▼▼三月

### ◆卒業式・修了式

三年生は長いようであつという間だった、たくさんさんの思い出のつまった五稜中学校での生活にピリオドをうち、それぞれの道へと歩みはじめました。在校生は、この一年間で学び、経験したことを土台に次の学年へ大きくステップアップすることができました。

本当に充実していて、たくさんさんの素晴らしい思い出ができた一年だったと思います。これから、もっともっと楽しい一年になるようにしてほしいと思います。

# 専門委員会



## 活動報告

### 代議員会の楽しさ

#### 代議員会

代議員は、数ある委員会の中で最も楽しくてもやりのある委員です。

代議員は前期に文化祭実行委員、後期には編集委員として活躍します。文化祭実行委員は、生徒会企画を自分達で考え、実行します。生徒会誌の編集は、原稿を書いたり、先生方が書いた原稿の回収などをします。これらの仕事はめんどくさいというイメージがありますが、私はそう思いません。これらの仕事はとても楽しく、とてもやりがいがあります。

私はこの2年間、代議員をやり続けて本当によかったと思っています。代議員の仕事に興味のある方、ぜひ代議員にはいつてみましょう。

最後に、仕事でお世話になった先生方、仕事に協力してくれた方々、本当にありがとうございます。皆様のおかげで、文化祭など様々な行事で助けられました。来年度も仕事の協力よろしくお願いします。

それではお元気で。さようなら!!

(中村 良平 記)

### 何かを学習する委員会

#### 学習委員会

学習委員会の主な仕事は、テストの予想問題作成、教科連絡、朝自習、そしてたまた、忘れ物調べといった感じです。

僕は、基本的にこの委員会は「みなさんの学習をサポートする委員会」だと思っています。しかし、それ以前にこの委員会は「自分も何かを学習できる委員会」だと思っています。

以前、僕が初めてテストの予想問題を作った時、人に「読めない」「わからない」などという言葉を言われて、非常にショックを受けた記憶があります。それから、人に見せる字ぐらいいは、できるだけきれいに、読みやすい字を書く、という当たり前の事を「学習」しました。このように、ささやかな事かもしれませんが、学習委員会をやることで、その人にとっての大切な「何か」を得ることができると、僕は信じています。

これからも、学習委員会は、「学習をサポートする委員会」そして「何かを学習する委員会」であって欲しいと思います。

(窪内 祐平 記)

## 生活委員をやってみて

### 生活委員会

僕は今までに2回生活委員を経験しました。1回目に生活委員をやったのは2年のころでその時に集だったから3年生になってもやろうと思いました。けど、いざ生活委員に入って委員長をやってみるととても大変でした。

会議の中でいろいろ出る意見をまとめて、みんなが納得するきまりを作るのがすごく大変でした。

生活委員の仕事は学校内の生活をみんなが楽しくすごせるようにきまりをつくり、守らせる仕事です。だから、きまりさえ守ってくれば基本的には楽な仕事です。それしか仕事がないので他の委員会に比べて委員会の数も少ないし、早く終わります。

委員長をやってみると大変な面もあるけど委員会としては楽な仕事です。

だからこれから、委員会をやってみたいと思うっている人は、生活委員も視野に入れてみて下さい。生活委員は学校のために頑張ってくれる人を待っています。

(棚池 幸治 記)

## 体育委員会を終えて

### 体育委員会

体育委員会の主な仕事は、体育の授業の時にみんなをまとめたり、体育大会の時中心になって活動することです。力仕事が多くてとても大変ですが、その分、大きな行事を成し遂げた時の達成感は、とても大きいものです。

例えば、体育大会の時、私は初めてみんなの前に立ち、選手宣誓をしました。不安で胸がいつぱいだった私に友達は「頑張って」と励ましの言葉をかけてくれました。

無事に選手宣誓が終わった時、私は大きな達成感を味わう事ができました。

みんなの前でなにかをするのが苦手な私が、体育委員長として、積極的に行動できるようにになったのは、体育委員の活動を通して自分に自信がもてたからだと思います。

私は体育委員会に入り、委員長になったことで、色々なすばらしい経験ができたと思っています。

最後にお世話になった須藤先生、協力してくれた生徒のみなさん本当にありがとうございました。

(吉田 佑衣 記)

## 保健委員会を終えて

### 保健委員会

保健委員の仕事は、水飲み場の清掃、石けんの補充、白衣の管理、清潔点検、ランチマット点検などがあり、大変でした。でもどれも地味な仕事で、目立ちません。水飲み場は本当によこれがひどかったです。森先生や武田先生は洗剤を出して下さい、本当にお世話になりました。また給食の白衣もよく阿部先生に「各学級八組あります。係全員着てくるように」と注意されましたが、月曜日は四組しかないことが多々ありました。でも前期の保健委員会が終わる前の点検では、八組あったので「ヤッター!!!」と思いました。阿部先生からもほめられ、嬉しかったです。

僕は委員長になった時、務まるかどうか心配でしたが、他の保健委員のみなさん、そして先生たちのおかげで、頑張り、やりとげることができました。

委員長として文化祭実行委員の仕事を引き受けました。文化祭の企画運営ばかりでなく書道展も手伝い、忙しかったです。

このようにいい経験もしましたし、充実した活動もでき、よかったと思っています。

(浅井 拓也 記)



## 文化委員について

### 文化委員会

ご存知かとは思いますが、文化委員会の仕事は男子が掲示関連を、女子が図書関連の仕事をしてという風に分担して行っています。委員会が始まると男子は小田桐先生の指示に従い掲示物の張替えをしてもらっています。しかし残念ながら女子の方は何故か委員会のたびに重なってしまう学習コンピュータで図書館が使用できなかったため、今この作文を書いている十二月十六日現在ではまだ何も活動ができていません。

しかし七宮先生が、開館は渡辺先生が昼休みにしてくれと仰っていたので、図書室の方は例年どおり無事開館できるものと思います。そして女子の仕事については開館してから図書室の管理や整備を中心となるのだと思います。

これから先、冬休みが明けて三学期になり、図書館が無事開館した時には一度図書館に足を運んでみてくださると幸いです。文化委員会は仕事が多いとはいえない委員会です。ですがそんな中にもやりがいを見つけてながら、この先の活動を頑張っていきたいと思っています。

来年の三月には三年生は卒業し、委員長などの仕事は今の二年生が継ぐことになります。次の委員長さんには何かしらの形で文化委員会を繁栄させて下さったら嬉しいなと思います。

(森藤 菜保 記)

## 最高のボランティア委員♪

### ボランティア委員会

今年のボランティア委員会は、毎年している仕事をしていました。花壇作りや、亀田川清掃、主に2つの活動しかしていないように思われがちですが!!!前期では、学校を華やかに見せるため各玄関に花を置き、キレイに映くように毎日本水をあげたり雑草を抜いたり、みんな熱心に世話をしていました。後期では地域の友達とのふれあいの為に1月に田家コミュニティセンターで行われた「節分」にボランティア委員一同が参加しました。休みの日であってもボランティア委員は活動しているのです!!! 私は、委員を通してボランティアの大切さや、素晴らしさを学びました☆

委員の皆さんも、この委員会で感じた事や思った事を大切にしていって下さい。

“パツ”としない委員長についてきてくれた、委員の皆さん!!!ホントにありがとう☆そして、日角先生というスバラシイ先生がいてくれたので最後まで委員長をやりとげられたのだと思っています。ありがとうございました。

(山谷 梨菜 記)

## 放送委員を終えて

### 放送委員会

今年の放送委員会は大変チームワークがよく、行事のアナウンスなどで誰がこの部分を担当するなどを決める時は、めめたりせずとてもスムーズに決まり、良かったと思います。

今年の放送委員の仕事は、朝の放送、お昼の放送が主な仕事で、体育大会のアナウンス文化祭の合唱コンクールや私の主張のアナウンスなどもありました。

お昼の放送で、曲をかけたリアナウンスをする時、音の大きさの調節が難しく、音が大きいと何度も注意され、とても大変でした。

文化祭の時は、聞きやすいアナウンスにしようという心がけ緊張しましたが、終わった後はホッとできて、とても達成感がありました。

今年は、お昼の放送で曲をかけてばかりで他に企画ができなかったため、これからは曲をかけるだけではなく、色々企画を考えて、全校生徒に「楽しい!!」と思ってもらえるようないい放送をしてほしいと思っています。

(長嶋 千紘 記)

# I LOVE 選挙管理委員会☆

## 選挙管理委員会

## 楽しかった? 応援団

### 応援団

押忍!!! 3年連続選挙管理委員会をやりとげた3年C組山谷梨菜です。今年の選挙管理委員会は、マジメで黙々と仕事をやる人ばかりだったので何ごとにも順調に進んでいき大変助かりました。委員会全体を通して、まあ問題点もなく楽しくできたかな?!

内容的には、運動期間がとても短かったため候補者の人達に熱が入り、良い運動になったのではないのでしょうか?!

演説の方は、候補者と応援演説者は共にしっかり自分の仕事をやりとげていました。開票の時は例年通り無効票が数枚あったのが、とても残念です。開票は選挙にとって、最も楽しみ&緊張のある一時です。なので候補者のためにもやめてほしいと思います。

選挙の中で一番心配されているのは、開票結果を他言しないかどうかです。多分大丈夫かなあ...とは思っているのですが...。もし、来年の委員を決めていない人は、是非選挙に入ってみて下さい!!! メッチャ楽しいっすよ

(山谷 梨菜 記)

僕は、3年間応援団をやりました。毎年団長を決める時、時間がかかり、やっぱり今年も時間がかかりました。そこで板東が僕を推薦してきたのです。声のほうは、団長の僕も、みんなも小さく、「こんなので本番の壮行式だいじょうぶなのか」というほど、やばかったです。練習をかさねると、だいじょうぶなってきましたが、声がぜんぜんたりませんでした。

そして壮行式の日、応援の練習を何回もくりかえし、全校生徒が集まった中でも何回も練習をして、いざ中体連選手がでてきての応援、僕は、何回かまちがえてしまいました。が、楽しくやれたので良かったです。いろいろとたいへんですが、来年応援団に入ろうとしている人は、がんばってください。

(吉増 亮太 記)



# 平成16年度 五稜中学校生徒会役員・専門委員一覧表(前期)

|        | 3 A            | 3 B            | 3 C                     | 2 A                                             | 2 B                     | 1 A            | 1 B                                               |
|--------|----------------|----------------|-------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------|----------------|---------------------------------------------------|
| 代議員 長副 | 中村 良平<br>金濱 沙織 | 小野 祐介<br>有櫛 加代 | 土肥 央<br>松田 春奈           | 佐々木康平<br>岩井ひかる                                  | 加藤 彌弥<br>藤代 美咲          | 岡田こずえ<br>木佐 大志 | 東館まりん<br>南條 利樹                                    |
| 生 活    | 棚池 幸治<br>小鹿 里奈 | 八重樫 集<br>佐々木梨乃 | 宇野 貴瑛<br>佐藤 麻衣          | 前川 裕一<br>中江 麻里                                  | 野沢 叔弘<br>山田 絵理          | 佐々木勇輝<br>池田 沙耶 | 阿部 健一<br>高木 咲枝                                    |
| 学 習    | 石黒 裕將<br>大林 希実 | 窪内 祐平<br>古藤 友紀 | 武田 尚悟<br>貝塚 咲           | 増谷 僚祐<br>気仙 友美                                  | 竹澤 公介<br>斉藤 朱夏          | 沖田 正人<br>蛸子 肖  | 佐藤 修<br>小野寺桃花                                     |
| 体 育    | 市川 敦嗣<br>江刺家麻美 | 吉田佑太朗<br>吉田 佑衣 | 小林 健太<br>五十嵐 晶          | 菊地 慶浩<br>平野ちひろ                                  | 中町 勇貴<br>深澤 麻未          | 新田 光<br>荒野 梨沙  | 長南 寛人<br>吉田早公子                                    |
| 保 健    | 吉田 大地<br>久保田 恵 | 浅井 拓也<br>佐々木麻衣 | 山本 平成<br>大友 麻紀          | 筆村 崇充<br>大門 梢恵                                  | 上戸 晃治<br>和泉 千尋          | 河野 竜翔<br>佐藤 美咲 | 塩原 哲郎<br>中村 津美                                    |
| 文 化    | 渡辺 俊也<br>若杉 晴香 | 松田 拓也<br>中村 麻衣 | 宇美 政輝<br>村上 朋代          | 佐々木恭兵<br>加藤 麻里                                  | 佐藤 燎<br>川田 仁美           | 堀田 貴雅<br>阿部 圭  | 岩館 陽介<br>福島 華奈                                    |
| ボランティア | 吉増 亮太<br>堀川真理子 | 八木橋 賢<br>成田 綾佳 | 門傳 優也<br>門谷ひとみ          | 工藤 純一<br>高村 由莉                                  | 出村 知大<br>井上登紀子          | 山田 翔太<br>澤口 舞  | 村川 裕<br>笹村 沙                                      |
| 放 送    | 木立 聡紀<br>前川 真希 | 田中 浩平<br>和田 亜未 | 藪 輝久<br>長嶋 千紘           | 中村 康平<br>山本 友美                                  | 西村 恭輔<br>奥山 紗貴          | 磯部 楓<br>尾見 遥奈  | 佐藤 元気<br>吉村 舞子                                    |
| 学級書記   | 野見 咲奈          | 下田 希美          | 村山れいら                   | 樋口 敬祐<br>吉田 麻美                                  | 栗田 大地<br>相田 玲歌          | 山形 匠<br>八木橋友梨名 | 榎方 皓平<br>外山 菜摘                                    |
| 学級会計   | 木村 崇史<br>上遠野りえ | 大越 聡<br>内藤 孝明  | 中村 優平<br>山谷 梨菜          | 水野 勇<br>工藤 渚                                    | 高橋 佳也<br>林 愛美           | 須藤 健太<br>小笠原叶恵 | 西浦 敬佳<br>門傳 雪菜                                    |
| 選挙管理   | 穴戸 愛           | 植木 恵祐<br>有岡 孔希 | 山谷 梨菜<br>高橋 弥悠          | 金 尚人<br>伊藤 孝明                                   | 出村 知大<br>伊藤 寿弥          | 岩田 涼<br>工藤 平   | 渡辺 清香<br>鍵主 佳飛                                    |
| 応援団    | 板東 良明<br>吉増 亮太 | 有岡 雄貴          | 餌取 弥悠<br>大島明日香<br>高橋 ちか | 片桐 亮<br>名平 忠伸<br>林 哲<br>町田 浩平<br>山田 和哉<br>鈴木 文章 | 加藤 彌弥<br>栗田 大地<br>西崎 裕介 | 玉川 信也<br>松村 洲伽 | 小林 修<br>佐藤 俊輝<br>渋谷 浩一<br>長南 寛人<br>千葉 翔太<br>藤森 隆之 |

|         |            |     |                         |     |                          |     |                          |
|---------|------------|-----|-------------------------|-----|--------------------------|-----|--------------------------|
| 総 務 会 長 | 荒田 恵美(3 C) | 副会長 | 岡本 勇祐(3 A)<br>田中 徳(3 B) | 書 記 | 三浦 花奈(3 B)<br>相田 玲歌(2 B) | 会 計 | 村山れいら(3 C)<br>干場 亮佑(2 A) |
|---------|------------|-----|-------------------------|-----|--------------------------|-----|--------------------------|

# 平成16年度 五稜中学校生徒会役員・専門委員一覧表(後期)

|        | 3 A    |       | 3 B    |        | 3 C    |        | 2 A    |  | 2 B |  | 1 A |  | 1 B |  |
|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--|-----|--|-----|--|-----|--|
| 代議員 長副 | 中村 良平  | 有櫛 加代 | 中村 優平  | 佐々木康平  | 加藤 彌弥  | 玉川 信也  | 中村 菜津美 |  |     |  |     |  |     |  |
|        | 金濱 沙織  | 小野 祐介 | 餌取 弥悠  | 中谷 詩世  | 林 愛美   | 安澤 しおり | 西浦 敬佳  |  |     |  |     |  |     |  |
| 生 活    | 吉田 大地  | 八重樫 集 | 武田 尚悟  | 佐々木恭兵  | 藤井 拓也  | 工藤 平圭  | 岩宮 佳佑  |  |     |  |     |  |     |  |
|        | 小嶋 里奈  | 金子 仁美 | 村山 れいら | 山本 友美  | 田 利菜   | 阿部 平   | 外崎 いづみ |  |     |  |     |  |     |  |
| 学 習    | 蛸崎 正晃  | 窪内 祐平 | 宇野 貴瑛  | 増谷 僚祐  | 岩館 大輔  | 石田 周利  | 棟方 皓平  |  |     |  |     |  |     |  |
|        | 野見 咲奈  | 佐々木麻衣 | 大友 麻紀  | 中江 麻里  | 中西 愛   | 福井 伶奈  | 瀬川 彩奈  |  |     |  |     |  |     |  |
| 体 育    | 木村 崇史  | 大越 聡  | 佐藤 啓介  | 樋口 敬祐  | 中町 勇貴  | 岡部 優大  | 山崎 恵祐  |  |     |  |     |  |     |  |
|        | 江刺 家麻美 | 吉田 佑衣 | 貝塚 咲   | 平野 ちひろ | 和泉 千尋  | 荒野 梨沙  | 有本 晴香  |  |     |  |     |  |     |  |
| 保 健    | 木立 聡紀  | 松田 拓也 | 高村 康宏  | 名平 忠伸  | 高橋 佳也  | 鈴木 真   | 塩原 哲郎  |  |     |  |     |  |     |  |
|        | 阿部 好美  | 斉藤 愛美 | 村上 朋代  | 気仙 友美  | 奥山 紗貴  | 佐藤 美咲  | 塩原 綾   |  |     |  |     |  |     |  |
| 文 化    | 渡辺 俊也  | 上野 雄貴 | 高木 健一朗 | 町田 浩平  | 西崎 裕介  | 堀田 貴雅  | 千葉 翔太  |  |     |  |     |  |     |  |
|        | 竹本 結衣  | 森藤 菜保 | 門谷 ひとみ | 高村 由莉  | 井上 登紀子 | 池田 沙耶  | 藤原 愛理  |  |     |  |     |  |     |  |
| ボランティア | 岡田 隆生  | 有岡 孔希 | 山本 隆史  | 伊藤 孝明  | 細越 大毅  | 西村 正太郎 | 小林 勇太  |  |     |  |     |  |     |  |
|        | 大林 希実  | 中村 麻衣 | 山谷 梨菜  | 加藤 麻里  | 川田 仁美  | 村 菜穂   | 外山 菜摘  |  |     |  |     |  |     |  |
| 放 送    | 米田 祐介  | 田中 浩平 | 小林 健太  | 菊地 慶浩  | 松本 裕也  | 磯部 楓   | 鍵主 佳飛  |  |     |  |     |  |     |  |
|        | 前川 真希  | 成田 綾佳 | 大島 明日香 | 木村 早希  | 中村 遥香  | 細貝 友香  | 長谷 優   |  |     |  |     |  |     |  |
| 学級 書記  | 秋元 綾香  | 下田 希美 | 荒田 恵美  | 前川 裕一  | 伊藤 寿弥  | 山本 幸平  | 南條 利樹  |  |     |  |     |  |     |  |
|        |        |       |        | 遠藤 由紀子 | 相田 玲歌  | 上杉 亜耶  | 島田 亜由  |  |     |  |     |  |     |  |
| 学級 会計  | 石黒 裕將  | 内藤 孝明 | 土肥 央   | 水野 勇   | 宮崎 雄   | 今野 敬斗  | 鄭 柄部   |  |     |  |     |  |     |  |
|        | 洪川 亜以  | 吉田 奈未 | 山谷 梨菜  | 岩井 ひかる | 深澤 麻未  | 松村 洲伽  | 高木 咲枝  |  |     |  |     |  |     |  |
| 選挙 管理  | 穴戸 愛   | 檜木 恵祐 | 山谷 梨菜  | 金 尚人   | 出村 知大  | 岩田 涼   | 渡辺 清香  |  |     |  |     |  |     |  |
| 応 援 団  | 板東 良明  | 有岡 孔希 | 餌取 弥悠  | 伊藤 孝明  | 伊藤 寿弥  | 工藤 平   | 鍵主 佳飛  |  |     |  |     |  |     |  |
|        | 吉増 亮太  | 上野 雄貴 | 大島 明日香 | 片桐 亮伸  | 加藤 彌弥  | 玉川 信也  | 小林 勇太  |  |     |  |     |  |     |  |
|        |        |       | 高橋 ちか  | 名平 忠哲  | 栗田 大地  | 松村 洲伽  | 佐藤 俊輝  |  |     |  |     |  |     |  |
|        |        |       |        | 町田 浩平  | 西崎 祐介  |        | 菅原 浩一  |  |     |  |     |  |     |  |
|        |        |       |        | 山田 和哉  |        |        | 長南 寛人  |  |     |  |     |  |     |  |
|        |        |       | 鈴木 文章  |        |        |        | 千葉 翔太  |  |     |  |     |  |     |  |
|        |        |       |        |        |        |        | 藤森 隆之  |  |     |  |     |  |     |  |

|         |            |     |                           |     |                          |     |                          |
|---------|------------|-----|---------------------------|-----|--------------------------|-----|--------------------------|
| 総 務 会 長 | 相田 玲歌(2 B) | 副会長 | 干場 亮佑(2 A)<br>佐々木 ゆい(2 B) | 啓 記 | 工藤 純一(2 A)<br>高木 咲枝(1 B) | 会 計 | 野沢 叔弘(2 B)<br>吉村 舞子(1 B) |
|---------|------------|-----|---------------------------|-----|--------------------------|-----|--------------------------|



# 卒業生へ贈る言葉



## 「手」

三年A組 担任 須藤 誠一郎

『風の谷のナウシカ』といえば、知らない人がいないほど有名な宮崎駿のアニメ。村の老人が、「自分のこつこつした手を、ナウシカがほめてくれるのだ。」という場面が出て来る。「腐界」にのみこまれそうになりながら、ひっそり暮らす村人に、その毒は静かにたまり、手や足を動かなくさせてしまう。それでも村人たちはそこに住み、鉄をにぎり、土を耕やして生活している。毒にやられ、毎日の仕事ですっかり太く、かたくなったその手を「姫さま（ナウシカ）」は大好きだと言うのだ。

私の父親は漁師だった。子どもの頃、漁具づくりをしている父親の様子をよく見て育った。ナウシカの映画をみて、父親の手を思い出した。見た目でなく、磯の匂いや、その感触を。腕すもうをする時、握った瞬間に、「今日もやられる」と感じた重みとして。

自分が当時の父親と同じくらいの齢になり、最近、時々、そういう思い出と一緒に手を見ることがある。「この手は、あの時の父親の手ほど重たいだろうか」と、ふと考えている自分に気づく。働くことそのもののような手。働いている現場の匂いをまとった手。そんな手をもてるまでに、あとどれくらいかかるのだろうか？

今、中学を去って行くひとりひとりが、そんな手を持つ大人になってくれることを願って。



## これから力強い歩みを…

三年B組 担任 木村 麻岐

みなさん、卒業おめでとうございます。みなさんの入学と一緒に五稜中学校に赴任して、3年間を共に過ごしてきました。この3年間を振り返ると、「本当に早かった」の一言です。それだけ充実した時間を過ごさせてもらったのだと改めて感じます。

この3年間、みんなの頑張りや協力する姿、優しさ、成長を一番近くで見て感じる事ができたことをとても嬉しく思っています。みなさん、本当にありがとう!!

卒業していくみなさんの前には、無数の道があります。その中で、どの道を選び、選んだ道をどのように歩いていくかを決めるのは自分自身です。道を選ぶ時には色々悩むことでしょう。しかし、どの道を選んだとしても、選んだ（選ばなければならなかった）道をどうやって歩いていくのが大切だということを忘れないでください。自分の道を一生懸命に歩いていけたなら、その道（選択）は正しい道だったと胸を張って言えると思います。そんな道をそれぞれが自分のはやさで歩いていってほしいと思います。

みなさん、自分の3年間を振り返ってみてください。みなさんの後ろには、一人一人違った形のはっきりとした力強い足跡が残されています。これから、その足跡は続いていきます。生きていたら辛いことや嫌になっってしまうことも沢山ありますが、道は必ず続きます。立ち止まり、回り道をするもありますが、力強い歩みを続けてください。

中学校生活を終えて、また一つ大人へと近づいたみなさん本当に卒業おめでとう！これからのさらなる活躍を期待しています。



## 「優しさ」をありがとう

三年C組 担任 小田桐 智

「先生、これみんなからです。使ってください。」

10月14日、実家が火災に遭い、全焼してしまいました。何一つ持ち出せず、すべてが灰になってしまいました。頭の中が真っ白になりました。そんな失意の僕たちを救ってくれたのは「優しさ」でした。職場の方々、近所の人、友達、見ず知らずの人。

そして3Cのみんなからも。「先生、大丈夫?」「先生たいへんでしたね」「みんなが声をかけてくれました。学活の時には「これみんなからです、使ってください。」とお見舞いまでいただきました。みんなの「優しさ」が本当にうれしかった。

失意の底に落ちて「優しさ」がこんなにも温かいものだと思いました。僕はみんなからいただいた「優しさ」を一生忘れることはないでしょう。本当にありがとうございました。

子どもが生まれた時にも「おめでとうございます。」と言ってくれましたね。みんなが持っている「優しさ」に心を温かくさせてもらいました。

「優しさ」を与える人には必ず「優しさ」が返ってくると信じています。みんなが持っている「優しさ」は本当に素敵です。いつまでも忘れないで下さい。

みんなが歌った「心の瞳」、忘れられません。「いつか若さ無くしても心だけは決して変わらない絆で結ばれてる。」こんなみんなにいられたらな、と願っています。

卒業おめでとうございます。



三年A・C組 副担任 菊地 康幸

卒業おめでとう。みなさんは、五稜中学校の卒業生の中でも、上位に入る優秀な生徒でした。明るく、何事にも集中して取り組み、学校生活を生きたと送れた人が多かったと思います。みなさんに私が望むことは、まず「誰にでも分け隔てなく接することのできる人になろう」、そして「壁にぶつかったときには、他人のせいではなく、自分には何ができるのかを考えよう」、「たとえ疲れていても、毎日の人生を生きたとすごそう」です。人は、出会いによって人生の転機を迎えます。みなさんの、これからの人生に良い出会いがあることを祈念しています。



三年B組 副担任 阿部 眞美

卒業おめでとう。みなさんの卒業後をうらないます。  
You may find a new side to yourself or find a new talent starting to blossom.

But there'll be some problems you'll have to face. Find the solution by thinking rationally instead of emotionally.  
May be friends and companions will bring you good luck.  
たくさんの思い出、ありがとございました。友達、仲間、家族を大切にして下さい。たまには遊びに来て下さい。



「磨けば光る玉のごとし!!」

二年A組 担任 桑野 健一

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます!!  
皆さんには、自分でも気がつかない秘めたる可能性・特技を全員が持っています。その能力を発揮するために、辛いことに挑んでいくことが、未知の可能性を引き出していくことなのです!!

### 時は金なり

二年B組 担任 南 條 恵二

卒業おめでとうございます。中学校の三年間は、長いようで短かったでしょう。中学校生活で学んだことはこれからの人生の糧になります。長いようで短い人生。一日一日を大切に過ごし、素敵な青春時代を送ってください!



### 卒業おめでとう

二年A・B組 副担任 大山 裕香

三年生の皆さん、卒業おめでとう。三年生全員と接する機会はありませんでしたが、部活・委員会や選択の授業では、とても頼りになる存在でしたし、楽しく取り組むことができました。五稜中で培ったことを大切に頑張り下下さい。



教諭(二年組) 石名坂 克明

卒業おめでとうございます。たった1年の付き合いでしたが、校内外での数多くの活躍は、稀に見るすばらしい3年生でした。これからの人生においても、情報を見分けてつかみ、好きな仕事に出会うことを祈念しています。



一年A組 担任 七宮 義通

今年の三年生は、本当にたくさんの良き伝統を下級生に残してくれました。新しい世界でもそのひたむきさを忘れず、多くの人に良い影響を残せる人になって下さい。ご卒業おめでとうございます!!

今しかできないこと・今だからこそできること!!

一年B組 担任 日角 朱実

卒業おめでとう!! 皆さんはこの先、十代二十代と年を重ねていきますが、その年代にしかできないことにトライして欲しいと願っています。三十歳になってから十代のことやすることはできないのですから、今が大事。今が大切です。



一年A・B組 副担任 鶴 宗三郎

君たちは、中学生という難しい時期をよく一生懸命生きてきましたね。一人一人胸を張って卒業していつて下さい。先生達は、未来を持つ君たちに大きく手を振ります。また、強く、たくましくな!!



教諭(一年団) 渡辺 淳

三年間多くのことを経験してきたことと思います。これまで学んできたことを大事にして、新しい生活へのスタートを切ってほしいと思います。立派に成長した皆さんに再び会える日を楽しみにしています。さようなら。



養護教諭 武田 輝代

中学卒業は大人への大きな一歩と言われます。いろいろな経験そして多くの努力をして、立派な大人になってください。きつとその時には、君たちの成長した姿を見て喜び、今とは違う会話ができることでしょう。楽しみにしています。



養護教諭 森 美絵子

♪小さな頃描いた夢は、今でも消えず心の奥、夢追うこと。忘れたあなたを、いつまでもやさしく待つてる♪。いつまでも夢をもつて生きて下さい。卒業、おめでとう。ごさいます。



相談員 笹原 五郎

卒業おめでとう。ごさいます。五稜中学校での三年間は皆さんにとって、いろいろな事を学んだりと、たくさんの友との出会いがあったり貴重な中学校生活であったと思います。これからは自分の将来をじっくり考えて、目標に向かって進んで下さい。



### 卒業おめでとう

事務職員 相原 郁夫



能楽師世阿弥が「初心忘るべからず」という言葉を残しています。これはいつまでも初心の時の覚悟や純真な気持ちを持ち続けなさいと言っていますが、新しい学校生活での初心を忘れずに真摯に努力して自分の夢を叶えて下さい。

### 卒業おめでとうございます。

事務職員 歩仁内 里美



今、皆さんは新しい未来を探す切符を手にしています。片道の長い旅の始まりです。三年間の中学校生活で得た貴重な経験を生かし、一つ一つ道を選びながら、それぞれの人生を創りあげて下さい。

用務員 高野 雄二



卒業おめでとう。  
充実した3年間をすごして下さい。

### 卒業おめでとう

用務員 高村 秀貴



晴らしい人生を送って下さい。

卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。  
これから自分の夢や希望に向かって努力をして素

### ご卒業おめでとうございます

給食 稲垣 良子



健康に留意して、目的実現のためいつも前向きに頑張ってください。あせらず、ゆっくり、着実に。





## 未来図を見つめてください

二年A組 佐々木 恭 兵

卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。

僕は委員会や部活動などいろいろな面ですごくお世話になりました。本当にありがとうございました。

今、間もなく皆さんのそれぞれの未来へ羽ばたこうとしています。中学校生活三年間、初めは長く感じますが、いざ終えて振り返ってみるとあつというまで短かったなあと感じているのではないのでしょうか。

しかし、人生というのは二度と帰って来てはくれません。たった一度きりでしかないのです。だから、自ら夢を見つけ、その夢に向かって歩んで下さい。生きていて、つらい事はもちろんあるでしょう。後悔することもあるでしょう。でも、これら乗り越えれば絶対いいことがあると思います。闇をさまよえば光がいずれみえてくるという事をいつも心に残しておいて、そして、前向きな気持ちを忘れずにこれからの人生を歩んでいくください。

最後になりますが、卒業と同時に、思い出を大切にしてください。友達と・先生と・そして五稜中学校との思い出を。かけがえない一生の宝物になると思います。

夢・希望・勇気……この3つは自分を輝かせるのです。これらはどんなものにもかないません。

これから、いつまでも、あたたかく、思いやりのある優しい心を忘れず頑張ってください。

## 卒業生へ贈る ～在校生より～

### 先輩へ、心をこめておつかれ様でした

二年B組 佐藤 燎

三年生のみなさん、御卒業おめでとうございます。

五稜中学校の門をくぐり入学式を終えて、早いもので二年がすぎようとしています。先輩のみなさんと楽しく過ごした日々、ともに苦勞した思いで文化祭、体育大会、部活動など熱く燃えたみなさんの姿が数限りなくよみがえってきます。

特にお世話になった野球部の先輩方の本当にたくさんのお思いでが頭の中を交差して言葉では言い尽せない何かへとふくらんでいます。

その思いの中で特に印象に残っているのは苦しかったけれども一生懸命に頑張った練習です。僕はバツティングの調子が悪く試合でもあまり良い結果が出せず苦しんでいた時、練習で励ましてくれたり、わかりやすくアドバイスをしてくれ、結果大事な場面で二塁打を打つことができました。ほかに体育大会でも長縄の頑張り、文化祭での素晴らしい合唱などに大きな感動を多くのことを学びました。そして「自分もそんな先輩になりたい」と今、心から思っています。

そんな先輩達が卒業してしまい、学校にいらなくなってしまうのは、僕達にとつてとても寂しいことであり、不安なことですが、五稜中学校で過ごした三年間を糧としてこれから訪れる数々の困難を乗り越え、自分の夢へむかって一歩一歩しっかりと歩み続けてください。僕達も先輩が「この先輩と出会えてよかった」と言ってくれるように、先輩の残してくれた伝統を引き継いでいきます。

先輩へ、心をこめて三年間おつかれ様でした。

## 五稜中という名の船に乗って

三年A組 渡川 亜以

五稜中という名の船に乗ってから早3年がとうとしています。入学当時、何もなかったこの「五稜船」には今やたくさんのものがのっかっているたくましい船になりました。この中には、私が3年間過ごしてきて、出会ったすべての物がのっかっています。

この3年間私は喜怒哀楽のいそがしい3年間でした。今、在校生のみなさんはどんな気持ちで学校を過ごしていますか？毎日が楽しくて楽しくて仕方のない人。学校なんかもうイヤだと思ってる人。また、友達関係などで悩み苦しんでいる人などたくさんいると思います。もし、その中で辛くて自分がイヤになっている人がいたら、そのままその辛さを自分らしさとして大切にしてあげて下さい。きっとその中から何か学べるものが見えてくるはずですよ。そして、もっと自分をよく見て、悪い所良いところふくめた自分を好きになってあげてください。必ずこれからの人生がおもしろおかしく過ごせることまちがいないでしょう。

五稜中はボロボロで市内1寒い学校らしいですが、雨にも負けず、風にも負けず、嵐にもビクともしない（台風で屋根はとれましたが……）この学校の生徒であることをほこりに思い、また自分一人ひとりが船長である五稜中という名の船の乗って自分の思うがまま、自由気ままにたまにはより道などをしながら胸をはって「今」という時を過ごしてってください。

## 在校生へ贈る ～卒業生より～

### 君達に託すこと

三年B組 小野 祐介

今の五稜中は、大きな問題もなく、職員もみな一生懸命協力してくれ、とてもいい環境だと思います。だから僕達生徒は勉強や部活などが伸び伸びとできます。このことを、当り前だとは思わず、常に僕達の学校生活を支えてくれている人々に感謝の意を、在校生のみなさんには絶対に忘れないでもらいたいです。

僕は中学校三年間で、沢山の仕事を経験させてもらいました。仕事をしている当時は辛かったこともありましたが、今思うと、すべてが自分自身にとってプラスになったと思います。なので、学校の仕事などを依頼された時には、快く受け入れてみて下さい。間違いない自分自身にとってプラスになります。

それから、在校生の1・2年生がしっかりと三年生の足場となっていてくれたから、僕達三年生が五稜中の核として最上級生の役割を務めることができたんだと思います。だから僕達三年生が、卒業しても、その学年に与えられた役割をしっかりと果たしてもらいたいです。二年生は、学校の顔となるので生活態度を改めて正し、文化祭や体育大会などの学校行事をより良いものにするため、下級生をリードしながらどんどん盛り上げていって下さい。一年生は二年生の姿をしっかりと見て、良い所をどんどん吸収し、真似していって下さい。

最後になりましたが、自分の「夢」や「目標」に向かい、少しずつでも着実に歩み続けて下さい。みなさんが自分のため、そして学校のために飛躍してくれることを僕達卒業生は期待しています！

# 部 活 動



## 一年間の 活動記録

悔しかった……

野 球 部 内 藤 孝 明

悔しかった……。

二回戦、ラサールに負けた。一回戦は4-3激戦のすえ勝利。二回戦目は9-8とこれも激戦だったが一歩おぼず負けてしまった。

三年間が走馬灯のようによみがえった。つらかったこと、楽しかったこと、練習試合ではなかなか勝つことはできなかったがみんな頑張ったこと、いろんなことがよみがえった。

二回戦目のラ・サール戦では、みんなが集中して、試合をできたから9-8までいけたと思う、「絶対負けない。負けるもんか」その気持ちが大切だと思った。結果として負けてしまったが、負けたことで色々なことを学んだと思った。そのほかにも毎日の練習でも色々なことを学びました。とてもいい三年間だと思っています。

最後に、山口先生、鶴先生、渡辺先生たちのおかげで約三年間楽しく野球をすることができました。ありがとうございます。他の先生方もいろいろとありがとうございます。

来年度は、二回戦突破。そして、中体連優勝してほしいと思っています。

これから悔しさをバネに頑張っていきたいです。



## 決して忘れない

サッカー部 小野 祐介

「ピッピッピ」ホイッスルが鳴り、勝って笑うと決めていた一回戦、ピッチの上には笑っている僕はいなく、負けて泣いている僕がいた。その涙には「悔しさ」や「情けなさ」が協和している涙だった。昨年や一昨年も試合に出て、悔しい思いはしたけれど先輩たちのように、あの時、僕は涙が出ていなかった。しかし、3年生になり後がないと思うと、また何粒も大粒の涙が出てきた。

先輩たちが引退して、僕たちがチームの核となる新チームだったけど、部員も少なく、みんなボールもろくに蹴ることができなかった。それでも、今年の春、転入生や一年生が入部してくれ、やっとチームらしくなってきた。練習試合でも勝てるようになってきたし、春季大会でもベスト4に入ることができた。だんだん手応えを感じ、毎日ボールが見えなくなるまで練習した。そして迎えた中体連だったが、たくさん声援を裏切った結果となってしまった。僕は、時がどんなに流れても、この悔しさを決して忘れない。先輩たちも、僕達同様にメンバーは少ないけど、最後の最後までメンバーを集め、チームをつくってほしい。絶対に投げだしたり、サッカーをやめないでほしい。最後になりましたが、こんな僕達の面倒を最後まで見て下さって七宮先生本当にありがとうございます。あと、先輩たちにサッカーの楽しさやすばらしさを教えてあげて下さい。活躍を祈っています。



## Ping Pong

卓球部 宇野 貴瑛

一年生の時に卓球部に入部しようと決めてから早三年がたちました。この長いようで短かった部活生活の中で、はくはくさんの思い出をつくることができました。一番心に残っていることは最高の部員に出会えたことです。先輩には個性的？な人がたくさんいて、いつも部活を盛り上げてくれました。こんな先輩がいたからこそ、ぼくたちはここまでやってこれたと思います。本当に先輩がたには感謝しています。ありがとうございます!! 後輩にも個性的な部員はたくさんいました。本当にたのしかったです。そして後輩には五稜中卓球部としての誇りをもち、はくはくたちが達成できなかった中体連決勝トーナメント進出の夢を全身全霊でがんばって見事達成してほしいと思っています。

最後になりますが、小田桐先生、木村先生には卓球をすることの楽しさを教えてもらいました。三年間、はくはくたちのために尽したいただき本当にありがとうございます。これからも五稜中卓球部の顧問として後輩達を育てていってください。



## ベストチーム

### 男子バスケットボール部 榎木恵祐

一年生のころからの部活動は中学校のよき思い出。振り返ってみるとたくさんのいろいろな事があった。

基礎をきっちり学びバスケットボールへの理解を深めた一年生のとき。

先生が変わり二年生のときの中体連で深堀中に大敗し悔やしさを胸に新体制でスタートした夏。つらい練習に毎日耐え頑張りぬいた夏休み、二回戦で敗れた新人戦。三位で予選を終え、三位リーグに向かった冬季リーグ。

三年生になり中体連が近くなり練習にもより熱がこもった。そして中体連一回戦西中戦きわどい試合で勝利した。二回戦戸倉中戦も順当に勝利し三回戦強豪宇賀ノ浦中戦死力を尽くしたが負けてしまった。悔やしかった。この思いを忘れることはない。

今まで指導してくれた須藤先生、七宮先生、鶴先生、父母のかたがた本当にありがとうございました。ばくはこのチームでよかったと思う。今までチームを支えてくれたみんなありがとう。そして二年生はさらに上を目指してがんばって下さい。



## 勝利・必勝・ファイト・ボイス・根性・ガッツ・集中

### 女子バスケットボール部 江刺家 麻美

バスケットは一人じゃできない。五人が一緒にプレーしてできるゲームだから、チームワークはとっても大事。だけど、私達はチームワークがあまり良くなかった。よくケンカして割れていた。そのたびに先生や先輩、後輩にまで迷惑かけていた。そんなだけで嬉しい事があれば一緒に喜んで、つらい事は一緒に頑張ってきた。楽しい事もあったし、悲しい事もあった。いろんなこと味わってきた。

そして、最後の大会「中体連」。先輩から引きついだ一回戦突破を目標に試合にのぞんだ。たくさん走って一生懸命プレーしたけれど戸倉に一歩おぼず惜敗。試合は負けたけど、今までで一番いい試合だったと思う。それにこんなに仲間を信頼して、たのしく思ったことはなかった。みんなとバスケットできて本当によかった。

一年間だけだったけど、私達三年生を指導してくれた七宮先生・鶴先生。時にやさしく、いつも厳しくしてくれた須藤先生、試合の時には必ず応援に来てくれた高橋先生、他の先生方々、保護者の方々、本当に感謝しています。最後にみんなへ、こんなへなちょこな私についてきてくれてありがとう。





## 最高のチーム

テニス部 貝塚 咲

同じ青空の下、同じ太陽の光をあびて共に汗を流したあの日々は、まさに輝いた青春そのものでした。引退から半年たった今、伝えたいことはこの感謝の気持ちです。楽しい日々をありがとうございました!!

私はこんなにも明るくて元気です。楽しい部活の部長ができて幸せです。でも、最初からではなく、私達三年、二年、一年みんなでつくりあげたものだと思っています。だからこのテニス部の明るさを伝統にしっかりとつづけてくれたら嬉しいです!! 以後輩をもて、本当によかったです。そして、中体連では優勝して下さい!! 上にいくには上を目指して下さい。一球入魂!!

菊地先生、南條先生、保護者のみなさま、本当にお世話になりました。感謝しています。先生達のテニス部に入れてよかったです。ありがとうございます。

そして最後に三年生のみんな。なかなか言えなかったけど、部長として大変な時は、いつも支えられていました。時にライバルとして、時に本音を話せる友として、かけがえのない仲間達です。伝えきれないほど感謝しています。

本当にありがとうございます。



## 二年目の「ありがとう」

剣道部 上戸 晃治

僕が剣道部に入ってから、もうすぐ二年がたつ。そして、この五稜中剣道部が出てから四年。

昨年度の部長の鎌田先輩が卒業して、僕一人だけになってしまった剣道部に、今年は、二人の後輩が入ってくれた。正直、剣道部には、誰も入ってくれないんじゃないか。と思うこともあったし、とても不安だった。だけど、二人が入ってくれたおかげで、剣道部が僕の代で無くなることも無くなり、不安のタネが消えた。

早いもので、僕が入学し、剣道部に入ってからもうすぐ二年。中学校生活も半分以上が過ぎ、次はいよいよ義務教育最後の三年生。来年度は、今年よりも人が増えるのを期待して頑張っていきたいと思う。

最後に、励ましたり、声をかけて下さった先生方、どうもありがとうございます。そして、顧問の阿部先生、こんな僕等を引っ張って下さって本当にありがとうございます。そして来年度も、どうかよろしくおねがいします。



## なんだかんだいって☆大好き

吹奏楽部 松田 春奈

『楽しかった』今、胸をはって言える。コンクールは銀賞で、私が部長になつてからの九ヶ月間、結局、何も変わらなかったのかも知れない。けれど、個性豊かで、笑い声のたえない吹部が大好きでした。そして何よりも仲良しだった。上手になることも大切だけれど、「個性」も大切だと思う。形の見えないものこそ大切にして、自分流の演奏をして下さい。



この二年間半を振り返ってみると、色々なことがあった。練習さばったり、楽器をこわしてしまったり、難しい曲を誰も吹こうとしなかったり……。でも、あいさつは立派でした。みんなそれぞれ悩みがあると思うけど、元氣にあいさつすること!!自分に気合いを入れて、頑張ること!!何事も自分との戦いです。支え合える仲間の輪を、音楽と共に広げて下さい。

私はいつも、みんなに助けられてきた。『楽しかった』のは、みんながいたおかげです。ありがとう。そして、吹部全体を支えてくれたのは、桑野先生と日角先生でした。少しくらいふざけても、優しく見守って下さいました。そして、熱心なご指導、本当にありがとうございました。なんだかんだいって、大好きでした!!

☆おわり☆

## 「コンピュータ部の魅力」

コンピュータ部 村山 れいら

コンピュータ部は、人数がとても多いにぎやかな部活です。コンピュータ部の主な活動は、自分の調べたいものがある時、コンピュータ室に行き、自由に検索をしたりすることです。こんなフリーな雰囲気も、コンピュータ部の特色といえます。でも、これだけでなく、縦連の時は、コンピュータの自由検索のほかに、トランプなどで遊ぶこともできます。コンピュータの自由検索は、自分の好きなものを調べられ、トランプなどのゲームなどでは、



学年が違う人や普段あまり話さない人ともゲームを通じて気軽に話ができたりと、どっちにしてもとても楽しいです。あと、週に一回パソコン検定の授業があり、パソコン検定を受ける人は、必死に勉強をしています。情報社会の今、この資格はとても役に立つと思います。私は、コンピュータ部に入り、たくさん楽しい思い出を作ることができました。そしてリーダーシップをとるのが苦手な私が約一年間無事に部長をやりとげる事ができたのは、温かく見守ってくれた小田桐先生、日角先生、一生懸命コンピュータ部を良くしようとして活動していた副部長の方々、そして心優しいコンピュータ部員のみなさんのおかげです。みなさん、本当に今までありがとうございました。

## 美味しかったお菓子

家庭・文通部 荒田 恵 美

私は、二年間家庭文通部で活動を続けてきました。入部した当時は、先輩もいて人数もそれなりにいたのですが、段々と減っていききました。そして今は、三年生と一年生一人しかいません…。卒業したら、一年生一人だけでどうなってしまうのだろうか、と正直、密かに思っています。

そんな人数の少ない部活でも、仲良く楽しくやってきたと思います★今年の活動内容は、文化祭の展示物を作ったり、お菓子作りや手芸などでした。文通は、だいたい前に出した手紙の返事が届いてなく「家庭文通部」なのに一度も文通をしてないという結果です。なので今年は文通を諦めて、

他の活動に取り組みました!!活動の中で一番楽しいお菓子作りです。私は残念ながら、生徒会で忙しく三年になってから一度もお菓子作りに参加してませんが…。他の皆が何を作ったかというところ、「苺のムース」と「ドラ焼き」です。私は作ってませんが、当然食べさせてもらいました!!苺のムースは冷蔵庫の中にあっただけで、シャーベットになって、すごい美味しかったです☆今年の部員は個性的で、楽しい活動だったと思います。そして一人になっても人数をふやし、活動を続けてほしいです。

最後に、大山先生。今まで本当にお世話になりました!!先生のおかげで、楽しみながら美味しいお菓子を作ることができたと思います!!



# 栄誉を讃えて

## ○陸上競技

女子 1年 100m

7位 外山 菜摘 1年

女子 高跳び

7位 平野ちひろ 2年

## ○柔道

女子個人 52kg級

1位 成田 綾佳 3年

## ○バドミントン

ダブルス戦

3位 大越 聡・土肥 央 3年

## ○ソフトテニス

女子団体戦

3位

## ○水泳

100m バタフライ

1位 吉田 大地 3年

200m バタフライ

1位 吉田 大地 3年

100m 背泳ぎ

1位 野沢 叔弘 2年

200m 背泳ぎ

1位 野沢 叔弘 2年

100m 平泳ぎ

2位 大門 梢恵 2年

200m 平泳ぎ

2位 大門 梢恵 2年

## ○新人戦ソフトテニス

男子団体戦 準優勝

## ○全道大会出場

柔道 成田 綾佳 3年

水泳 吉田 大地 3年

野沢 叔弘 2年

## ○地域安全標語

優秀賞 中西 愛 2年

入選 森藤 菜保 3年

竹本 結衣 3年

## ○新春書き初め大会

教育委員会賞

井上登紀子 2年

## ○タックスフェア実行委員会

秀作 井上登紀子 2年

## ○函館市中学校英語弁論大会

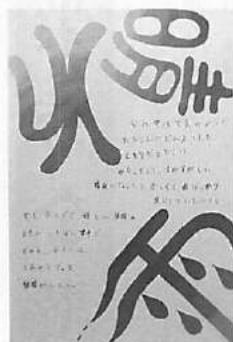
優秀賞 小野 祐介 3年

貝塚 咲 3年

## ○毎日新聞社主催「第32回中学生作文コンクール」入選

中村菜津美 1年

# 美術作品集



三年A組 江刺家麻美



三年A組 渡川 亜以



三年A組 大林 希実



三年C組 佐藤 麻衣



三年C組 門谷ひとみ



三年B組 森藤 菜保



三年C組 武田 尚悟



三年C組 村上 朋代



三年C組 山谷 梨菜



## 思い出をこのページに残して



平成16年度 卒業生



### 「無限の可能性」について

ほとんどのカモメは、飛ぶという行為をしごく簡単に考えていて、それ以上のことをあえて学ぼうなどとは思わないものである。つまり、どうやって岸から食物のあるところまでたどりつき、さらにまた、岸へもどってくるか、それさえ判れば充分なのだ。すべてのカモメにとって、重要なのは飛ぶことではなく、食べることだった。だが、この風変わりなカモメ、ジョナサン・リヴィングストンにとって重要なのは、食べることも飛ぶこともそれ自体だったのだ。その他のどんなことよりも、彼は飛ぶことが好きだった。

そんなふうな考え方をしていると、仲間たちに妙な目で見られかねないことは彼も承知していた。なにしろ実の両親でさえも、彼が毎日のようにひとりで朝から晩まで何百回となく低空滑空をこころみ、実験をくり返すのを見ては、おろおろしている始末だったから。

リチャード・バック 作

かもめのジョナサン より

全ての「ジョナサン」へ



**卒業生**

人



♡れおれ詐欺に気をつけて！  
 ①かのうきょうこ、脱税疑惑！  
 ②だれか僕に愛をください♡  
 ③なくみこうじ、ここが巧です。  
 ④かのうみかCD発売！買ってね♡  
 ⑤お倉優子とコリン星にレッツGO!!  
 ⑥はっぱいでいず×2♡  
 ⑦マトモに生きるぞぉ！  
 ⑧インリン愛好会会長はボクですよ!!  
 ⑨レット・イット・ビー♪  
 ⑩ボクがあげるよ！ ア・ツ・シ♡  
 ⑪ウ行語大賞はデイズニーベビー♡  
 ⑫一番といったらやっぱり春一番だろ♡  
 ⑬ウシヨウ変わった人の多いクラス。  
 ⑭♡やっぱりママの味♡

|    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 石井 | 石黒 | 市川 | 岡田 | 岡本 | 木立 | 木村 | 棚池 | 中村 | 板東 | 吉田 | 吉増 | 米田 | 渡辺 | 嶋崎 |
| 寿博 | 裕路 | 敦嗣 | 隆生 | 勇祐 | 聡紀 | 崇史 | 幸治 | 良平 | 良明 | 大地 | 亮太 | 祐介 | 俊也 | 正晃 |

(せ) せんせいってかつこいいいゝ系!?  
 いつ、卒業できる系!?  
 いち円玉財布からあふれる系!?  
 (ち) ちよるすはちよんそを好き系!?  
 るん毛な君に甘ずっぱい系!?  
 (う) うど鈴木ってもしかして俺系!?  
 (も) もう一回♡あたゝしきくらんば系!?  
 (ま) マー君!!どこ見てんのよおゝ系!?  
 イ・ピョンホンってカッコイイ系!  
 しん乳かける系!? お前アホ系!?  
 (ホ) ホーグラフの問題解けない系!?  
 (ホ) ホックにお菓子いっぱいいる系!?  
 (一) 一冊はあんだよ!! (電) オタスケブがあゝ  
 (タ) タータイム (ハ) 君なら何する系!?  
 (シ) シロンゴロ育ちの元祖は俺系!? (四)



|    |    |     |    |    |    |    |    |     |    |     |    |    |    |    |
|----|----|-----|----|----|----|----|----|-----|----|-----|----|----|----|----|
| 若杉 | 前川 | 堀川  | 野見 | 竹本 | 洪川 | 穴戸 | 小鹿 | 久保田 | 金浜 | 上遠野 | 大林 | 江刺 | 阿部 | 秋元 |
| 晴香 | 真希 | 真理子 | 咲奈 | 結衣 | 亜以 | 愛  | 里奈 | 恵   | 沙織 | 野りえ | 希実 | 麻美 | 好美 | 綾香 |



|       |       |        |
|-------|-------|--------|
| ガイドさん | 菊地 先生 | 八木橋 賢  |
| 有岡 孔希 | 小野 祐介 | 松田 拓也  |
| 吉田佑太郎 | 大越 聰  | 田中 徳   |
| 内藤 孝明 | 八重樫 集 | 浅井 拓也  |
| 窪内 祐平 | 上野 雄貴 | 木村 先生  |
| 田中 浩平 | 檜木 恵祐 | 田村校長先生 |
| 吉田 佑衣 | 古藤 友紀 | 吉田 奈未  |
| 下田 希美 | 斉藤 愛美 | 佐々木麻衣  |
| 金子 仁美 | 成田 綾佳 | 三浦 花奈  |
| 有柳 加代 | 佐々木梨乃 | 和田 亜未  |
| 阿部 先生 | 森 先生  | 中村 麻衣  |

**3B**

3年B組!!

麻岐ちゃん先生♡

木村級

私たちのクラス3Bは、男子14名、女子15名、そして私たちのアイドル木村先生の30名で成り立っています。私たちのクラスは、異常にキヤラが濃く、3クラスの中で最もうるさいクラスです。また、チームワークの良い時と悪い時の差が激しいところが短所で、とても明るく元気が怖いもの知らずなところが長所です。体育大会では、短所が出たせいか、結果は3位で悔しい思いをしました。その悔しさをバネに合唱コンクールに挑みました。私たちのクラスは、とても難しい曲を選んでしまい、初めは苦戦してしまいました。しかし、練習を積み重ねていくうちに、音程もとれ、声も出るようになりました。そして、1人1人が本番で金賞をとれるように一生懸命頑張りました。その結果、みごと金賞・ベストピアノ賞・全校グランプリ賞をとることができました。思いもよらない良い結果でびっくりしました。この合唱コンクールで、また一つ思いが増えたのではないのでしょうか。あと少して、この3Bともお別れです。でも、この一年間で共に笑い、共に学び合ったことはみなさん忘れる事はないでしょう。最後に、木村先生、本当に有難うございました。

# 卒業生一人一言

## 一言



3-B編

お前ら今日から全員水谷の生徒だ!!  
三年間ありがとうございました。

これからも元気でね、リノビー♡♡  
がんばりました。

俺競馬がチヨンマル・サラシヘヨ♡  
一生どうようします。

ありがとう。さようなら。...?  
ネタがない。今は反省している。

オパンバボンボンパン♪ ハナタレ  
楽しかった3 years!!

遅いようで早かった3年間。  
1年間ありがとうございました。

とても楽しかった3年間だったー!!  
今までありがとういい薬です。(笑)

とっても楽しかった3年間♪  
健康第一

すっごい楽しかった3年間でした♡  
④りん②物語♡慎チャ愛♡まな一

①かの時間もテンションカ まい一  
⑤よるすたべたいな♡かな♡一

☆ありがとうの歌☆ V6♡

浅井 拓也

有岡 孔希

上野 雄貴

大越 聡

小野 祐介

窪内 祐平

田中 徳

田中 浩平

内藤 孝明

榎木 恵佑

松田 拓也

八重樫 集

八木橋 賢

吉田佑太郎

有働 加代

小芝 珠代

金子 仁美

古藤 友紀

齊藤 愛美

佐々木麻衣

佐々木梨乃

めっちゃ楽しかった♡3-B最高♪  
☆自分のために! ☆ TOKIO♡  
まち楽しかった♡3-B最高♡♡  
①いつでもどこでも大爆笑♪ なみ一  
②ああ!! HYDE おお♡♡ ゆい一  
③ようは、オムライス♡♡ あみ一  
④オレ達は強いゾツ We are 札幌☆ 終  
短くも長い間お世話になりました。



反省してやった。  
今はムシクシしている。

下田 希美  
中村 麻衣  
成田 綾佳  
三浦 花奈  
吉田 奈未  
吉田 佑衣  
和田 亜未  
森藤 葉保



|       |       |        |       |
|-------|-------|--------|-------|
| 高村 康宏 | 山本 隆史 | 山本 平成  | ガイドさん |
| 中村 優平 | 門傳 優也 | 小林 健太  |       |
| 宇野 貴瑛 | 武田 尚悟 | 藪 輝久   |       |
| 土肥 央  | 高木健一朗 | 佐藤 啓介  |       |
| 宇美 政輝 | 渡辺 翔平 | 小田桐先生  |       |
| 大友 麻紀 | 大島明日香 | 田村校長先生 |       |
| 佐藤 麻衣 | 村山れいら | 荒田 恵美  |       |
| 村上 朋代 | 五十嵐 晶 | 山谷 梨菜  |       |
| 餌取 弥悠 | 高橋 ちか | 長嶋 千紘  |       |
| 松田 春奈 | 門谷ひとみ | 貝塚 咲   |       |
|       |       | 森 先生   |       |

3C

天才的なおだっちゃクラス

小田桐級

わが三年C組は、小田桐先生をカシラとする、男子15人、女子14人の気合は十分だけど、結果はひかえ目という、とてもおもしろいクラスです。

特に、行事にかける意気込みはすばらしく、どのクラスにも負けないくらいの勢いなのですが、終わってみると、体育大会は2位、合唱コンクールではベストサウンド賞という、とてもひかえめな結果でした。

学習面においても、男子が常に高得点をマークして大活躍の中、女子がぐっと平均点を下げ、これまたひかえめな結果に終わっています(笑)

ひかえ目な生徒に比べ、おさえきれないのが、担任の小田桐先生です。声の大きさ、文字の大きさ、心の大きさなどなど、追隨を許しません。小田桐先生も含め、全員でバランスがとれているクラスなのです。

このクラスの友達と、もう少しでお別れをするのは寂しいけど、五稜中の生徒であったこと、3年C組になり、たくさんさんの思い出を作れたことを誇りに思い、これからも頑張ります。

☆3年C組おだっちゃクラス最高☆



# 卒業生一人一言



3-C編

やっと義務教育終了だ！

毎日微妙に楽しい3年間

特にないなあ

電光石火な3年間だった。

けっこう楽しかったですよ!!

なかなかたのしかったさんねんかん

いろいろあった3年間。

いヨオクウワアツタアヨオオ——

別れあり出会いありの3年間だった

美術の5がほしかったあ——!!

毎日が普通だった3年間

あたらしい春が来た！希望満開！

それなりに頑張って過ごした3年間。

ふつうに楽しかった3年間。

3-Cを忘れるけれど気にしない

⑤ やっぱり胞子とばしてます♡

この3年間のいい学校生活でした。

⑤ ヨン様ヨン様……って言うぢやない!?

③ つつり気分のいしなざあ〜かあ♡

まともな人間になるっ!!

③ しだん追加メンバー貝塚です!!

宇野 貴瑛

宇美 政輝

菊池 利雄

小林 健太

佐藤啓介★

高木健一朗

高村 康宏

武田尚悟♪

土肥 央

中村 優平

門傳 優也

藪 輝久★

山本 隆史

山本 平成

渡辺 翔平

荒田 恵美

五十嵐 晶

餌取∞弥悠

大島明日香

大友 麻紀

貝塚 咲



利雄画

⑤ つと落ちついたほうがいいよ!?

フアイト一発で頑張るYo☆oui☆

⑤ よつとウロウロしすぎてたね!!

⑤ つばい出〜きたいしなざあ〜か♡

いろんな☆形☆のいしなざあか♡

とても充実した中学校生活だった。

まじめな人間になるっ!!

高校生になったら160cmになるぞっ!!!

佐藤 麻衣

高橋 ちか

長嶋 千紘

松田春奈♪

村上 朋代

村山れいら

門谷ひとみ

山谷 梨菜



## 旅の始まり

有 櫛 加 代

五月十六日、期待に胸をふくらませて函館を出発しました。

まだ朝の七時だというのに、みんなハイテンションです。相当、この旅行を楽しみにしていたのでしょう。早速、仙台行きの列車に乗り込みました。列車の中がこれがまた、とっても楽しいのです。

お菓子を食べたり、写真を撮ったり、お話ししたり、ゲームをしたり……。私は、たくさんの人とふれ合えるこの列車が大好きです。短

かった列車の旅は終わり、楽しみにしていた仙台駅に到着しました。私は、仙台の街並みにとってもびっくりしました。函館とは全く違った風景でした。一番に驚いたのは、ビルの多さです。さすが仙台！と思いました。仙台では、昼食と仙台駅周辺の見学をしました。

私の班は、仙台駅で昼食と見学を済ませました。昼食は、仙台名物の牛舌を食べたかったのですが、少し高いので安くておいしいランチにしました。仙台駅の中でも再び驚く事が多かったです。ここでは、初めての体験の連続と、驚きの連続でした。今度また行ける時は、家族と行ってゆっくりしたいです。この後は、すばらしい島々がある松島へ向かいました。



## 松島旅行記

大越 聴

修学旅行初日、天気はやくもり。しかし初めての松島に僕達の興奮はおさまりません。

僕は塩釜から遊覧船に乗り込み、松島へ向かいました。曇った空にもおかまいなしに、えさをもらいに次から次へとカモメがやってきて、あつというまに船は人とカモメのかたまりになりました。だれもがカモメに口でのえづけに夢中で、風に運ばれてくる潮の香りや、さまざまな形をした島になど全く興味がなかったようです。

楽しかったえづけを終え、船を降りたところには乗り物酔いの人ですら楽しげな表情を浮かべていました。

写真撮影を終え、次は自主研修です。自主研修では、雨の中オルゴール堂や水族館、伊達政宗歴史館、瑞巖寺、五大堂などを回り、歴史の流れを充分に感じることができました。

この松島という町を歩き、見て、確かめて、感じ、いろいろな発見をし、修学旅行初日にとってふさわしいしめくりでした。



## 手作り村にて

村上朋代

楽しい楽しい修学旅行。三日目は、手作り村で奮闘しました。竹細工、わら細工、陶器などの中から、自分の作りたいもの一つ選ぶのですが、私がチャレンジしたのは馬のわら細工です。小田桐先生を含めて五人という、少人数でしたが、指導して下さった年配の方が、とても楽しく盛り上げて下さり、笑いがあふれる中、夢中で作りました。全く初めての経験だったので、上手にできたのかどうかよくわからないのですが、私にとっては大満足の出来上がりでした。今もリビングで誇らしげに立っています。このちょっとパランスの悪い馬を見るたびに、修学旅行での楽しかった思い出がうかんできます。

今年行く後輩のみなさんも、はりきって、芸術的な作品の作成に取り組んで下さい!!そして、おいしいアイスクリームも売っているので、ぜひぜひ食べて、楽しんで下さい!!



## 自然と歴史を探訪

修学旅行 班日誌より

歴史の教科書にも出て来る中尊寺。金ピカの金色堂。お香の匂いが漂ううす暗いお堂の中で、低い声のアナウンスを聞きました。奥州藤原氏三代のミイラが保存されているのが生々しく感じられます。中尊寺は金色堂のある建物だけというのだと思っていたら、山全体を指すのだと聞いてビックリ。ガイドさんの話によると、松尾芭蕉も訪れていて、

夏草や つはものどもが 夢のあと

と詠んだのも、この山からだったそうです。今はおみやげ屋さんや茶屋もあって、私は生まれて初めて、おみくじを引いてみました。

次に行ったのは猊鼻溪。アユなどの

魚が手でつかめそうなほど一杯で、みんなでエサをやるのが楽しかった。断崖絶壁の下を舟頭さんが、竹ざおを使って舟を進めてくれます。岩肌と緑が目に見えるような、そして、雨のせいで幽玄な感じもして、気持ちと和みました。川の途中と終点に岩穴があって、おさい銭や石が入ると願いがかなうとか。下りの時、舟頭さんが歌ってくれた「げいび追分」が絶壁に響いて、すごく良かった。晴れた日にもう一度行きたいです。



## 修学旅行での寝床

小野 祐介

修学旅行初日、僕たちは松島にある「ホテル五大堂」に宿泊しました。みんな初日ということもあり、疲れきってしまい、早く寝ました。

2日目は、「ホテル紅葉館」に宿泊しました。紅葉館での夕食はとてもおいしかったし、カラオケもやったのですごくよい思い出になりました。この日から、みんなに余裕ができ、消灯時間になっても、寝つかず、何度も先生が見回りに来て注意されました。

紅葉館で3日目の朝を迎えました。この日は、手作り村や、今にも「銭金」に出そうな岩山パークランドで動物園の猿のようにはしゃぎました。修学旅行最後の夜は、秋田の「湯瀬ホテル」でした。

夕食で名物のきりたんぽ鍋を食べました。とてもおいしかったです。温泉も気持ちがよく3日間で蓄積した疲れがとれ、ぐっすり寝れました。翌朝、目覚めはとても良く「めざましTVの占い」をしつかりとチェックして青森駅へ向かいました。みんなたくさんのお土産を重そうに手に提げて函館行きの列車に乗り、東北の地を後にし、3泊4日の旅を終えました。楽しくとても良い旅でした。



## 岩山パークランド

成田綾佳

修学旅行3日目、私達は岩山パークランドへ向いました。その日は少し天候は悪かったが、楽しさが減ることはありませんでした。

岩山パークランドには、座席がぐるぐると回転するジェットコースターや、さかさまになった時、今にも落ちていきそうな感覚をあげわう事ができるアポロ、本当に今、自分の後ろにもモンスターがいるような気配を感じさせるグランディッシュの館、胃が圧迫される、笑いが止まらなくなってしまうほどおもしろかったマンハッタン、みんなでレースをして楽しんだゴーカート、ゲームコーナー、迷路、他にもたくさんおもしろい乗り物がありました。

第一印象はあまり良いとはいえなかったが、フリーパス券を手に、貸し切り状態だった岩山パークランドでみんなはいつも以上に元気で、時間を忘れるほどはしゃぎ、そして、たくさんのお笑いを作ることができました。

こんなに楽しくて、たくさん思い出ができるのは岩山パークランドだけだと思います。今の二年生も行った時はぞんぶんに楽しみ、そして、たくさんのお笑いを作ってきてほしいと思います。



## 康楽館・帰りの道のり

金子仁美

私達の旅も最終日を迎えました。少し疲れを感じながらも目的地である「小坂・康楽館」に到着しました。この康楽館は明治時代に建てられた、歴史がたつぷりつまっている貴重な建物なのです。館内に入ると、施設見学として舞台裏に入ることが出来ます。舞台裏の装置は、すべて手動であること、楽屋には数多くの人気役者のサインがあることなどなど、驚きの連続でした。風格ある演技が手の届く近さで味わえるのが何よりも魅力的な「小坂・康楽館」でした。

15時22分、私達を乗せた列車は函館へ向け出発しました。まだ帰りたくないような早く帰りたいような、複雑な気持ちだったのを今でも覚えています。列車の中では、おやつを食べながら話したり、写真を撮ったりしていました。2時間くらい経つと窓からは見慣れた景色が目に入ってきました。函館に着いたのです。ふと4日間の出来事が頭をよぎりました。楽しい事ばかりではなく集団行動の厳しさ、大切さも理解できた旅だったと思います。

ひとまわりも、ふたまわりも成長できたなあと感じています。笑いあり!! 苦あり!! 喜びあり!! 絶叫ありの楽しい楽しい私達の「旅」でした。あ♡



# 宿泊研修



## 宿泊研修の思い出

二年A組 佐々木 康平

9月2日・3日に宿泊研修がありました。まず最初にバスに乗り、江差に行きました。開陽丸とかもめ島に行きました。開陽丸はとても大きな船で、中は資料館になっていました。中では、写真や大砲の撃ち方の体験もありました。甲板では、いかりを上げる物で遊びました。とても楽しかったです。次にかもめ島に行きました。かもめ島は、思った以上に広かったです。灯台などの建物もありました。それから、岩がむき出しになった所もありました。そして次に江差追分を見ました。最後の「ソーラン節」が一番良かったです。ほかにも色々な事があったけど、この事が一番楽しかったです。

二年A組 藤 渚

木曜日の朝、何度も何度も確認したカバンの中を最後にもう一度だけ確認した。とにかく忘れ物の無いように、それだけを心掛けた。学校に行き、バスに乗り、うとうとしているとあつという間に江差に到着。江差の町中は、とにかく坂が多く、どこに行くにも苦労した。その後、追分会館で聴いた歌はすごく印象的だった。ホテルに着いてからは何もかもが楽しく、また、おそろしくあつという間だった。騒ぎすぎて、夜はすぐに寝てしまった。次の日は帰る日という事もあり、朝から気分が悪かった。バスに乗ってもまだ帰りたくないという気持ちが強かった。1泊2日の旅行はあつという間でしたが、私にとって大切な思い出になりました。



## 二年A組 高村 由莉

9月2日・3日は、宿泊研修旅行がありました。2日には江差に行きました。私は江差に行くのは初めてだったので、楽しみでした。開陽丸では、中を色々見る事ができて、面白かったです。自主研修では、横山家や旧中村家などへ行きました。旧中村家では、明治時代の頃のガラスがそのまま残されていてすごいと思いました。江差を出て大沼のホテルへ行って夕食を食べてから、レクのソフトバレーをしに行きました。A組は勝ちました。楽しかったです。3日は、バター作りをしました。バターを作るのは初めてだったので、ふるのは疲れたけど、楽しかったです。1泊2日の宿泊研修、短い期間だったけど楽しかったです。

## 二年B組 西崎 裕介

朝、学校に行くと、雨が降った後だったので少しぬかるんでいた。出発式が終わりバスに乗ると、すぐに江差に着いた気がした。酔わないために外を見ていたからだと思う。まずは開陽丸を見た。ここは以前にも来たことがある。その後弁当を食べ、自主研修に入った。法華寺の龍の絵は大きくすこかった。自主研修が終わると追分会館で江差追分を聞いた。ホテルへのバスの中で、先生が歌を歌っていた。ホテルの部屋はとてもきれいだったが、風呂は狭かった。寝たのは夜中の1時だった。次の日の朝は5時20分に起きた。大沼でバター作りをしてジャガイモにつけて食べた。帰りは疲れて、少し眠っていた。疲れたけれど、思い出に残った。

## 二年B組 井上 登紀子

9月2日・3日に宿泊研修がありました。1日目は、開陽丸や江差に行きました。開陽丸では、ハンモックで寝たのが初めての経験だったので、とても印象に残っています。江差では、自主研修で色々な所に行って色々なものを見て楽しかったです。2日目は、バター作りをしました。バター作りでは、バターよりジャガイモの方が甘くて美味しかったのを覚えています。今回の宿泊研修で最も楽しかった事は、友達とふとんに入りながら、いろいろな話をした事です。いつもはほとんど話さない人とも話ができて、とても楽しかったです。

## 二年B組 川田 仁美

9月2・3日に宿泊研修がありました。宿泊研修の1日目は、開陽丸を見学してから江差の町を歩いて、追分会館で江差追分を聴きました。開陽丸では、船の説明やその時代の話、海から見つかった物などが展示してありました。難しい説明はよくわからないものもあったけれど、開陽丸のあった時代が少しわかったと思います。江差追分は、なぜあんなに長く息が続くのか不思議でした。2日目は、大沼に行ってバター作り体験をしました。思ったよりも難しく、あまり上手にできなかったけれど楽しかったです。宿泊研修はとても疲れたけれど、色々なことを学べたので、とても充実していて良かったと思います。

# 西部地区探索記〈1年総合〉



## 函館西部地区調査活動をふり返って

鄭 柄 部

僕たちは、九月二日・三日に函館西部地区の調査活動をしました。僕たちの班は、一日目に函館山や旧公会堂を調査しました。函館山からの風景は、夜ではなかったものでそれほどきれいではありませんでしたが、たくさんのお客が来ていました。公会堂は、外から見ても中から見ても美しく、その時代に作られたものかと目を疑ってしまいました。

二日目には、一日目に調べた資料をもとに、壁新聞の作成にとりかかりました。コンピュータを使って別の資料をさがし、壁新聞の内容としてまとめました。

この二日間を通して、函館について多くのことを学びました。

渡 辺 清 香

私の班は、金森倉庫を中心に教会などを調べました。

予定では一日目にカトリック教会や金森倉庫、二日目には公会堂や聖ヨハネ教会を調査することになっていましたが、時間に余裕ができたので、文学館や北方民族資料館を見ることができました。

まとめて壁新聞を作るときには、見出しの書きかたで悩んだり、字の大きさを考えたりと、いろいろな勉強になることができました。今回の調査活動では、函館についていろいろと知ることができたと思います。また、壁新聞では反省点も見られましたが、次のまと

めで壁新聞を作るときには、それらを生かして取りくみたいと思います。

## 磯 部 楓

僕たちは、立待岬の周辺の有名スポットについて調べました。

友達と元町周辺を歩いたことがないので楽しみにしていました。が、同時に、班長として班員をまとめていけるだろうかという不安もありました。

そんなことを考えているうちに、立待岬に到着しました。無事にみんなと到着できたので、不安もなくなり、元氣になりました。その時、少しでも自分が成長したような気がしました。それからみんなで、立待岬のことをいろいろと調べました。

その帰りにみんなで見た景色は今でも忘れません。函館のことについて勉強もできたし、みんなで調べることができたことは、僕にとってすごく良い思い出になりました。

## 蛸 子 肖

九月に行われた総合学習。私は多くのことを学びました。

一日目、私の班は金森倉庫について調べました。初めは、スタッフの人にインタビューをしました。スタッフの人はとても優しく、私達の質問にいていねいに答えてくださいました。その後、実際にお店に行ってきました。お店の中は観光客や修学旅行生などでにぎわっていました。

私達は早速、ふた手にわかれて調査を始めました。洋物館の中は

とても広く、一つ一つを調べるのにかなりの時間を費やしました。しかし、調べてみるとなかなかおもしろく、知らぬ間に夢中になっていました。

ふと我に返ると集合時間が迫っていました。なんとか時間に間に合い、お昼をすませたあと、もう一度金森倉庫へ行ってきました。金森倉庫のことは、歴史について、と洋物館のお店について調査をすることができました。

二日目は、明治館へ行ってきました。まずは一階のガラス工房。ガラス細工を写真に撮ろうと思いましたが、店員の人に禁止されてしまいました。その後、二階のオルゴール館へ行きました。オルゴールは、曲も形も種類がたくさんあり、調べるのが大変でした。しかし、班員みんなで協力しあって、正確な調査ができました。

午後には写真歴史館などを見学してきました。建物はとてもすばらしく、内容も見ごたえのあるものでした。

その後、班員で壁新聞を作りました。ガラス工房のようすや金森倉庫の歴史、そして人気商品などをまとめました。写真などを使って、見る人が興味をもてるように工夫しました。時間はかかりましたが、一生懸命作ったので、良い壁新聞になったかな、と思います。

今回の総合学習で私が出たものは、金森倉庫の歴史やガラス細工の作りかた、オルゴールについてなどを知ったことももちろんですが、そこで働く人々と交流ができたことも私にとって心に残りました。また、同じ班の仲間達と協力しあうことで得られる充実感も学ぶことができたと思います。

この学習で学んだことは、これからの総合学習にも役に立つと思います。来年もがんばりたいです。

# 1年 学級プロフィール



一年A組

いつもの☆1A☆

七宮 義通級

私たちのクラスは、七宮義通先生をはじめとする、男子18人、女子19人合計37人の明るくて元気の良いクラスです。なんと言っても1Aはにぎやかです。そんな1Aにも欠点があります。遅刻してくる人が多い事やだらしない事です。なかなかクラス全員がそろう日がありません。

1Aの担任の七宮義通先生は、とても優しく、まじめでおもしろいです。何にでも熱心な七宮先生は、愛息子「伊織君」をこよなく愛していて、すばらしい父親です。そんな七宮先生でも怒ると怖かったりときには厳しいです。

そしてこの一年間では、いい思い出がたくさんできました。校内体育大会では、団体種目でほとんど勝つことができなかったけど、個人種目はみんなが1人1人の成果が表れ、優勝することができました。合唱コンクールでは、惜しくも金賞を逃したけれど『熱演賞』という、すばらしい賞をいただきました。何より、一番かなしかった思い出は友達との転校。1Aでは男子2人も転校して行っちゃいました。でもまた1人男子の転入生が1Aに加わり、今はすごくなじんでいると思います。

そして私たちは、あと数か月で1年生も終りです。少しでも、「友情」と思いやりあふれるクラスを目指して2年生になっていきたいです。2年生になったらクラス替えがあり1Aの仲間とはお別れです。大変なこともあるけど1Aの仲間を忘れず、そして七宮先生の優しさを忘れないで2年生になっていきたいです。

# 1年 学級プロフィール



一年B組

鉄腕先生 VS 生徒達

日角 朱実 級



私達は、全校のクラスの中で一番人数の多いギューギューなクラスです。しかも、授業中には話し声がたえず、いつも先生と生徒達の間でかくとうがくりひろげられています。担任の鉄腕先生は金運アップ⑩をねらっているらしく、教室には黄色い掲示物が目立っています。

そんな一Bですが、ちゃんと長所だってあります。それは、明るく元気な所です。だから一Bの生徒達は皆、湘南の海のようにキラキラッと光っています。そんな一Bの生徒達に聞いたランキングを紹介します。お題は：「二〇〇四年、一年B組重大ニュース」です。まず一位は……「T君の転校&お別れ会」です。実は学校で一番人数の多いクラスだったのですが、一人減ったことではかのクラスと同じ人数になってしまいました。そして第二位は「合唱コンクールで金賞受賞」です。第三位は「チヨン君が韓国より上陸!!」クラスの間では、チヨン様とか呼ばれてます(汗)。第四位「台風」が来た。第五位は「体育大会」。優勝はのびましたが、みんな頑張っていましたよ!!その結果、長縄&タイヤリレーでは一位でした!!こんなランキングですが、11位とまでなると、「豆多すぎ」とか「チリコンカン」とか、ワケのわからない答えがかえってきたり……。そんな所も一Bの長所なんです(笑)。まあ、うれしはずかしの一年間でしたね。でも楽しいクラスでよかったわぁ。もうこのクラスになれないけど、2年生になってもみんな頑張ってこー!!!

# 2年 学級プロフィール



二年A組

ベテランと38人の「キセキ」

桑野 健一級

私達のクラス、2年A組は男子21人女子17人、そして永遠の14歳桑野先生の計38人で構成されています。

今日はそんな2-Aの自慢話をしたいと思います。まず1つ目はなんととっても団結力です。体育大会では、その抜群のチームワークをいかにして見事1位!!中でも長縄は本番で自己最高記録を出しました。また、合唱コンクールでも、キレーな声をホール中に響かせて「金賞」を受賞する事ができました。さらには、テストの平均点も結構いいという、どこから見てもパーフェクト!!なクラスです!!(でも理科の時はうるさい)

2つ目の自慢はそんな私をずっと引っ張ってきてくれた桑野先生です。先生と言えば五中に来て8年の、泣く子もだまるベテランですが、実際は精神年齢14歳のとてもお茶目な先生です。よく言えば私達の目線で接してくれます。そして、いつでもNo.1を目指しています。というか、No.1が大好きです!!だから、今年は先生に恩返しが出来たんじゃないかと思っています。まあ、その分迷惑もたくさんかけてますが…

そんな2-Aのみんな、そして桑野先生と過ごすのも、あと数カ月となってしまう。それは、ホントに寂しい事だけど、この2-Aのみんなで作った思い出はいつまでも心のすみに残しておいて欲しいです。



# 2年 学級プロフィール



二年B組

☆新たな伝説を生む 史上最強の平和なクラス☆

南條 恵二級

こんにちはあ☆私達2年B組は、文化祭の時に頑張って踊った、ハグレ先生と愉快な仲間達38人の元気が良すぎるクラスです。元気が良すぎて、毎日のようにハグレ先生に怒られます。

2Bにはハグレ先生をはじめ、個性豊かな人がたくさんいます。そんな個性豊かな2Bにもたくさん良いところがあるんですよ!! 男女がすごく仲良いところとか、ハグレ先生の頭の健康状態をクラスのみんなで心配してあげるところとか…(笑)まだまだたあたくさんあります!!

こんなスバラシイ2Bのみんなと過ごした1年間は、たくさんのいろいろな思い出のかたまりです。

体育大会と合唱コンクールは残念ながら、ほんの少しの差で負けてしまいましたが、どちらも先生の熱血指導のおかげで、みんな頑張ることができました。指導してくださった先生に感謝しています。私達はもうすぐ最上級生の3年生になります。2Bで過ごせる時間も残りわずかです。

私達は今まで私達の支えになってくれた先生に感謝しながら、2年生というハードルを飛びこえて、少し高めの3年生というハードルに向かっていきます。私達はそのハードルにひっかかってつまずかないように、勉強・部活・恋愛(?)を今まで以上に頑張っていきたいと思っています。

私達は3年生になりクラスが離れてしまうけど、この一年間の思い出を大切にしていきたいと思っています。

## 校外学習体験記

### ロシアに旅立ち学んだこと

二年B組 相田玲歌

9月20日、私は派遣生の一員として、ロシア「ユジノサハリンスク」へと旅立ちました。ユジノサハリンスクは北海道のちょうど北に位置し、飛行機で約二時間というとても近い国です。しかしロシアは私にとって近くて遠い何も知らない国であり、そんな国でくらす一週間の生活に私は多くの期待と希望を胸にいだいていました。

ユジノに着くと、当然今まで目にしたことのない光景が広がっていました。何もかもがめずらしく新鮮で、ユジノの町は私の目をとりにし見るもの、見るものに驚くばかりでした。

そして、市役所に着いて私が一週間お世話になるホストファミリーのみなさんが迎えてくれました。私のホストファミリーは、当然初対面で言葉も通じない私にとでも良くしてくれました。初めはやはり「言葉」の壁でとても苦労しましたが、英語・ロシア語にジェスチャーを使いたくさんコミュニケーションをとって毎日楽しく何不自由なく過ごすことができました。ショッピングに行ったり、町を散歩したり、もちろん家の中で過ごした日々も思い出のほとんどがホストファミリーとのものでした。別れる時はすごく辛くて、絶対にまた会おうと約束しました。私にとって、ホストファミリーと

過ごした時間は住む国、言葉などがちがっても心は必ず通じあえるという普段の生活からは感じられない、大切な事を教えてくれたすばらしい時間でした。

そして、派遣生のみんなと行った学校訪問では音楽のレベルの高さに驚きました。中でも「エトノス」という芸術学校が印象的です。エトノスの生徒達は、民族衣装を着てロシアの民族舞踊を披露してくれました。それはとても素晴らしく、言葉が出ないほどの感動をプレゼントしてくれました。ロシアにはこのように、音楽やスポーツなどの専門的な学校があり、自分の持つ力を大いに伸ばすことができるので、私は日本にもこのような学校があればいいなあと思いました。

その他にも、ユジノでは日本にいては体験できない皆さんのことを体験することができ、皆さんの感動を得ることができました。私は、今回この派遣に参加することができて本当に良かったと思います。新たに自分の中でたくさんの目標ができたし、この作文には書ききれないほどの、夢のような貴重な思い出を作ることができたからです。また、ユジノで出会った人はもちろん、派遣生として一緒に行った素晴らしい仲間に出会うことができたからです。そして、この派遣を通して私にとって近くて遠い何も知らない「ロシア」という国が大好きになることができました。私は、この一週間の全ての体験が自分の将来に必ず役立つと思っています。

最後に、来年何か新しい事にチャレンジしてみたいと思っている人は、ぜひ、海外派遣に応募してみてください。  
あなたにとって一生の「宝物」素晴らしい思い出ができるはずです。

# 心のあたたかさ

三年C組 佐藤麻衣

海外なんて怖い。遠いし、それに言葉だって通じない。私はこの海外派遣へ参加して、海外に対してそんなイメージを抱いていた自分がとても恥ずかしく感じました。

日本という殻を破り、初めての異国の地、ロシアへ私は出発しました。現地へ着くと、私のまわりはみんなロシア人。日本人の私には訳のわからない会話。その時、初めてロシアへ来たんだと実感しました。雲一つない、すみきった青空に希望を感じながら、私の夢の旅行は始まったのです。

サマースクールでバシフィックライン校の子供達と交流する最初の日はとても緊張していましたが、すぐに仲良くなることができました。三日間の間ずっとロシアの子供達と一緒に交流し、一番強く感じたことは、「心のあたたかさ」です。交流の中でロシアの子供達と私達をこちゃまぜにしてチームをつくり、そのチームごとに競う小さなオリンピック大会があったのです。私たち日本人の数よりロシアの子供達の数の方がはるかに多かったのです、私のチームには日本人の女の子が私一人しかいませんでした。ロシア語もわからないのにどうしたらいいのだろうと思っていれば、私より年上のサーシャという女の子が、にっこりと笑いかけてくれて、ずっと手を繋いでくれたのです。私はその時、本当にうれしかったです。その優しさ、その心のあたたかさに、涙が出そうになりました。それからサーシャは、英語で私に話しかけてくれるようになりました。「名前は何?」とか、「年齢は何?」とか、普通の会話だったのに、しつ

かりと鮮明に覚えています。

その他にも友達になった子はたくさんいます。みんなかけがえない大切な友達です。みんなと一緒にたくさん笑った分、別れもとても辛く、涙が止まりませんでした。しかし、必ずまた会おうと約束し、別れを告げました。

出会いと別れ、笑顔と涙は、人を大きく成長させてくれるものだと思います。これはもう法則となり、日常使われているのではないのでしょうか。私もきつと一回りも二回りも成長したと思います。

日本はとても裕福です。ロシアへ行き、初めて気づきました。水道水がそのまま飲める、毎日でもお風呂に入れる。日本にいて、当たり前に出ることが、ロシアでは出来なかったのです。私の行ったウラジオストクというところは、人でにぎわっていました。しかしその裏は悲しいものでした。私達がバスで移動をしている時、ある光景が目に入りました。ストリートチルドレンです。デパートらしき建物の前に、ボロボロの服を着て、何か入れものをもって、地べたに座っていたのです。その子は、誰かに声を掛けることもなく、うろろ歩いたり、座ったりしていました。私は胸が痛みました。日本ではみられない光景に、ただがくせんとしているだけでした。今、この世界には私達の知らないところでストリートチルドレンが増え続けています。その子達の為に私が出来ることはないかもしれないけど、あの光景を目にしたことで、日本だけではなく世界を見つめることのできる広い視野がどんなに大切かわかりました。今回の海外派遣により、私はたくさんなことを学びました。本当に参加してよかった。心からそう思います。今回学んだことを知識とし、一生の思い出とし、世界の平和を願いながら、これからの人生を歩んでいきたいです。

# I believe

三年B組 小野 祐 介

十月下旬、僕は英語弁論大会という、作文用紙三枚の体験記や自分の考えを、英語で暗記し、たくさんの方の前でスピーチするという大会に本校の代表として出場させていただきました。

この大会のために、毎日昼休みや放課後をつかい、たくさん練習を積みました。練習はとても大変でした。大きい声でなおかつ、しっかりとした発音で話しかけるようにしないとダメなので僕はいつも上手くいかず失敗ばかりして、渡辺先生に注意され、同時に迷惑ばかりかけていました。

そんなこんなで迎えた大会当日、会場には頭の良さそうな他の学校の生徒二十人くらいと、高校の先生やAETなど三十人くらいがいました。司会者に「Next speaker is 祐介 小野」とよばれ「Yes」と返事をし、僕のスピーチがはじまった。入り出しは、たくさんの方が僕を見ていることに緊張していたけど、中場あたりには緊張も薄れていき、逆に大勢の前で話しているこの一時間が気持ちよく感じられた。そして、しっかりと自分の伝えたい事を伝えられたし、悔いなんてものは一切なかった。全国大会には行けなかったけど、この大舞台でこれだけやれたのだから、いつかこの貴重な経験が自分の人生に活かしてくることをいつまでも信じていたい。

僕は今、充実感に満ちている。それは先生方の指導があったからこそ感じられるものだと思う。こんなできな坊主を最後までエスコートしてくれた渡辺先生、練習につき合ってくれた阿部先生、石なごか先生、メッサー。Thank you very much!!



# 文苑



## 他国の地に立ち、

## 日本を見つめ直してみると

三年 小野 祐 介

みなさんは、違ふ国から来て初めて出会う人に対して心を開き、優しく接してあげることが出来ますか。

僕は今からちょうど一年前、ロシアのウラジオストクという地で、ホームステイという貴重な体験をしました。

ホームステイでは、ホストファミリーにお世話になりました。しかし僕は勉強不足で、ロシア語を全然話せなく、ずっとおとなしくしていました。すると、ホームステイ先の男の子で僕より二歳年上のエヴゲーニーが日本語で、

「こんにちは。」

と話しかけてくれました。

僕はその一言をとてもうれしく感じました。しかし、それと同時に後悔しました。エヴゲーニーは日本語を勉強してくれたのに、僕はロシア語を勉強していなかったからです。

その後も僕とホストファミリーとの間には言葉の壁がありましたが、なんとか日本なまりの英語やジェスチャーで必死に自分の気持ちを伝えました。

あつという間に一晚経ち、場所をホテルに移し、お別れ会が行われました。お別れ会ではロシアの人達と一緒に食事をし、歌をうたい、イカ踊りを踊りました。写真もたくさん撮りました。楽しい時間を過ごしているうちに、時計の針がお別れの時刻を過ぎようとしていました。別れる直前、エヴゲーニーから日本語で、

「楽しかったです。また遊びに来て下さい。」と言われました。このとき、僕は胸がいっぱいになり、涙が出そうになりました。また、ロシア人の心の温かさを改めて実感しました。そして、涙をこらえて別れました。

このように、何も知らない地で出会った、気さくで優しくして下さったホストファミリーは、僕に何事にも変えがたいものを与えてくれました。この体験で一番感じたロシア

人の心の温かさ。それは一言で表現できなく、とても大切なものでした。

今の日本人の生活は他の国々と比べれば、とても裕福です。大変な作業はほとんど機械がやってくれます。一家に自動車が一台中あるのもあたり前です。技術面で他の国より優れていると言えればそれまでですが、僕が言いたいのは、その反面、人としての本当の優しさを忘れかけ、そして失いかけているのではないかということです。日本を離れ、日本を見つめ直してみると、そのことがよくわかりました。今、日本人が忘れかけている「人としての優しさ」を再び取り戻してほしいです。海を渡り、一人ぼっちで、文化も違えば言葉も違ふ。そんな家庭におじゃまして、たくさんの貴重な経験ができ、本当に良かったです。

最後になりましたが、僕にこんなすばらしい機会を助けてくれた菊地先生、いろいろな手助けしてくれた校長先生、木村先生を初めとする先生方、本当に感謝の気持ちでいっぱい입니다。スパシーバ!! (ありがとうございました!!)

〔私の主張〕全校金賞

## サッカーとの出会い

三年 吉田大地

中体連サッカー大会、僕達五稜中は大川中に、二対三で負けてしまった。とても悔しくて涙が出てきた。

二年前までは、まさかこのグラウンドに立っているとは思ってもみなかった。中学校二年生の夏、僕に転機が訪れた。

……ある日、友人に「サッカー部に入らないか」と勧誘された。その日一日中考え、僕はサッカー部に入ることを決めた。

サッカー部に入り、初めての練習。全然ボールを蹴ることができなかった。でも、その日から僕はサッカーに夢中になった。練習をすればするほど上達していくのがわかった。おもしろくてたまらなかった。

そして、二年生の中体連。三年生の先輩にとっては最後の試合だった。僕はDFとして右も左もわからないまま一杯走った。結果は0対4で負けた。先輩達は最後まであきらめずボールを追っていた。その姿を見て、来年こそは勝つぞと決意した。

次の日から、二年生六人での部活がスター

トした。部員は少ないながらもみんな一生懸命練習をし、そして新入部員を勧誘した。その結果人数も増えて、春までには九人になった。三年生になり、一年生が入部してくれたおかげで、十五人にまで部員が増えた。中体連で勝つために、みんな日々努力をし、みんな一杯がんばってきた。

そしてむかえた最後の中体連。今までの練習の成果を発揮する時が来た。試合が始まり、前半はおさえながらも同点で折り返し、後半開始直後、味方のクロスにあわせて僕がシュートを決め、逆転した。このゴールは今まで一番うれしかった。

その後、ふんばりながらも後半残り一分で逆転され、ホイッスルが鳴った。このとき、僕の青春は終わった。悔しくて悔しくて、涙が出てきた。今までの出来事が走馬灯のようによみがえってきた。

夏、六人で汗をかきながら走った五稜郭公園。冬、しもやけになりながら、雪の上でやったサッカー。どれをとってみても良い思い出だった。長いようで短かった二年間、今までにはなかった経験ができた。もうこのメンバーでサッカーができなくなってしまうととても寂しい。

それでも僕は、この充実した二年間を大切に

にし、これからの人生に生かしていきたい。

〔私の主張〕全校銅貨

## 夢

二年 西崎裕介

負けるのが当たり前、悔しいとも思っていない表情の選手たち。勝つことが、どんなに心地の良いことかも忘れてしまった。それほど長い間、阪神タイガースは勝利の女神から見放されていたのだ。と言うより、すぐそばににいることにさえ、気がつくようにならなかったように思います。

そんな阪神タイガースに現れたのが、星野仙一という人でした。

「私はこのチームを優勝させるために来た。」この一言から、星野監督と選手との、壮絶な戦いが始まりました。負けることがどれだけ悔しいことなのか、勝つことがどれだけうれしいことなのか。そんな当たり前のことを選手に教えるのが、星野監督の最初の仕事だったそうです。

一昨年の九月十五日、監督就任のときの約束通り、阪神タイガースは十八年ぶりに優勝しました。七月ごろには独走体制に入り、優



勝が見えていたのにもかかわらず、監督も選手も必死に試合をしていたのです。テレビで中継を見ていても、それが伝わってきたことを忘れません。それまでの阪神の選手たちの投げやりな表情とは、まるで違う真剣な目。夢をもち、その夢をかなえるために、より高い目標に向かって進む姿に、ずっと応援してきた人達も、心から感動したのではないかと思います。健康を害するまで選手を引っぱった監督と、その心に応えた選手達の姿は、あきらめてはいけないこと、希望をもって生きることの素晴らしさを教えてくれました。

現在、プロ野球界は合併に関わることなど様々な問題があります。しかし、どんなときも困難なことから逃げないで、挑戦すること、あきらめないこと、そして何よりも、夢をもつことは素晴らしいと伝えてくれる、そんな選手達の姿をいつまでも見ていたい、心から願っています。

〔私の主張〕全校銀賞

## 大きな罪

二年 川田 仁 美

「小学校六年生同級生を殺害」そんな文字が

まだ寝ぼけていた私の目にとび込んできました。夢かと思ったその文字は、朝刊の新聞記事の見出しでした。小学六年生という私と何歳も年の離れていない女の子がクラスメートを殺害してしまうなんて、とてもその時は信じられませんでした。

なぜこんな事件が起きてしまったのでしょうか。テレビや新聞などの報道によると、メールなどのやり取りの中で問題が起きたという説明でした。私も友達とメールをします。遠くに転校してしまった友達とも会話ができて、とても便利です。でも、文字だけのやり取りは、気持ちがいまぐれ伝わらないことがあります。だから、「こう書いたら相手はどう思うかな。」と少しでも考えることが大切だと思っています。

罪を犯した女の子は、好きだったクラブ活動辞めさせられてから性格が変わってしまったとも言われていました。好きなことに一生懸命打ちこめることができれば、メールやインターネットなどで人の悪口など、無駄なことを考えることが少なくなるといいます。私にはテニスという打ち込めるものがあったて良かったとあらためて感じています。皆がそれぞれ打ち込めるものを見つけたら、こんな事件は起きなかったかもしれない

ないと思います。

この事件を通して私が一番強く感じたこと、それは、

「どんな人でも簡単に殺されて良い人などない」

ということですが。どんな人にも「生きる権利」は与えられているのです。その権利をお互いに守りあえるようにすることは、とても大切なことだと思います。そのためにはきつと、皆が相手に対する言葉を選び、皆が目標や夢をもって好きなことに打ち込む楽しさを知ることが、一番なのではないでしょうか。

〔私の主張〕全校銅賞

## 子どものインターネットについて

一年 塩原 哲郎

僕はホームページを持っています。もちろん、チャットや掲示板もあります。これらはパソコンのインターネットを通じてできるものですが、今年、そのインターネットがきっかけになった、とんでもない事件が起こりました。「佐世保女子児童殺害事件」です。

この事件以来、子ども同士のオンラインでのやりとり、つまりチャットやメールが問題

視されてきました。教育委員会からアンケートが来たり、テレビでインターネットの悪い部分ばかりを取りあげた番組が放送されたこともありました。

しかし、子ども同士でのインターネットは、決して悪いところばかりではありません。

小学校五年生のとき、僕はあるホームページの掲示板に参加していました。そのホームページの管理人は当時高校一年生で、僕にとっても親切にしてくれました。ペイントソフトで絵を描いてメールで送ると、「上手ですね」とほめてくれました。僕はとてもうれしくなりました。優しい人だと思いました。また、今の僕のホームページにはたくさんの方が来ています。いろいろなことを話しますが、みんな良い人達です。

子どものインターネットについて、たしかに問題もあります。でも、それを防ぐ方法は簡単です。最初に大人が正しい使い方を教えてあげれば良いのです。そして、子どもも正しい方を守れば良いのです。そうすれば、きっと大丈夫なはずですよ。

世界を広げ、自分を深めることのできるインターネット。僕は、そこで得られるものもたくさんあると思います。

〔私の主張〕全校銀賞

## 私にとって一番悔しい一言を言われた日

一年 上杉 亜耶

みんなには、自分にとって上辺だけの友達はいませんか。私は、自分とその友達のことについて話したいと思います。

私は、正直に言うと、その友達のことを本当の友人だとは思っていませんでした。どちらかと言えば、上辺だけの関係と思っていました。しかし、ある日、その友人が私のことを本当の友達だと思ってくれていることに気づいたのです。それから、少しずつ話をしていき、一緒に遊んだりするようになりました。

そんな関係のまま、卒業式の日になり、卒業式は無事に終わりました。その後教室に入って話をしていると、その友人が私のそばに来ました。そして、

「今まで仲良くしてくれてありがとう。」

と言いました。私は、

「えっ？どういふこと？」

と聞き返しました。すると、

「もう無理して仲良くしなくてもいいよ。」

と言ったのです。私はとても驚きました。そして、とても申し訳ない気持ちになりました。

た。自分が適当な気持ちで人につきあったせいで、その人を傷つけてしまったのだと、そのときようやく気がついたのです。

どうして真剣にその子のことを考えることができなかったのだらうと、とても後悔をしました。そのことを考えていると、その友人は教室を出るとき、

「今まで友達でいてくれてありがとう。」

と言いました。私は彼女のうしろ姿を見ながら、ようやく最後の一言の意味を理解しました。今までということは、これからは友達ではいられない、ということなのです。私はとても悲しくなりました。そして、そういう一言を言わせてしまった自分自身に腹が立ち、悔しい気持ちになりました。

みなさんも思いあたることはないですか？もしあったら、すぐ行動にうつして下さい。後悔と、悲しい思い出になってしまいう前に……

〔私の主張〕全校銅賞



# 俳句(三年)

落ち葉見て秋を感じて冬を待つ 石井 寿博  
 ひらひらと舞いおりてくる秋の色 石黒 裕將  
 夏の花夜空に咲いてすぐ散りぬ 市川 敦嗣  
 公園で桜きらきら降りそそぐ 木村 崇史  
 落ち葉おらはかなきにじむ並木道 棚池 幸治  
 桃色の花でにぎわう春の時 中村 良平  
 空に舞うきれいな結晶冬の華 吉増 亮太  
 冷水に足をひたして夏感じ 江刺家麻美  
 風走り桜散りゆく並木道 大林 希実  
 冬を告げそつと消えゆく雪の精 上遠野りえ  
 春風にそつと吹かれて夏来たる 金濱 沙織

幸せの願いを映す夏の空 小鹿 里奈  
 夏の夜空に光の花が咲く 若杉 晴春  
 ああ眠い布団癒しい春の午後 窪内 祐平  
 夏浅し雲なき空に泳ぐ鯉 田中 浩平  
 雨あがりふつと顔出す空の橋 内藤 孝明  
 北風に耳をすませば冬近し 八重樫 集  
 暗闇に雷光轟き天の詩 吉田佑太郎  
 梅雨晴れてにつこり笑うあのひまわり 金子 仁美  
 春が来て姿を変える雪だるま 斎藤 愛美  
 風吹かれゆれるタンポポ笑ってる 佐々木麻衣  
 桜もち食べた家族の良い笑顔 三浦 花奈  
 風が吹き足もと見ると桜色 吉田 奈未  
 夕なぎの音とたわむれ帰る道 吉田 佑衣

雨漏れしコップを置けば水の歌 森藤 菜保  
 根雪とけ雑草出でて春近し 宇野 貴瑛  
 木の下で落ち葉を集め夢を見る 高木健一朗  
 土を出るやせた体のたくましさ 中村 優平  
 涼しげに心やすらぐ夏の鈴 門俣 優也  
 明け方の草についてる露きらり 大友 麻紀  
 しんしんと夜に聞こえる雪の声 貝塚 咲  
 風鈴の音色とともに夏過ぎる 松田 春奈  
 忘れないあの日の花火友の顔 村上 朋代  
 日曜日笑顔の母とカーネーション 門谷ひとみ  
 足もとにタンポポ咲かず大地かな 山谷 梨菜

## 短歌（二年）

寒き日に家のストーブ温かし頑張ることをうれしく思う

工藤 純一

冬の夜の暗き中にも光あり氷に映る星の輝き

増谷 條祐

しんと雪降る夜空見上げると月の光も臆ろげかな

中江 麻里

まっかな手こすり合わせて歩く外遠く感じる自分の旅

木村 綾

手のひらに落ちる雪つめたいけど言葉をかわすと優しい気持ち

田原明日美

冬の夜のひかりに照らされて静かに舞散る白いかげやき

高村 由莉

真っ白なじゅうたんひかれたその日には我一番に足あとつける

平野ちひろ

おわかれのつらい一言さようなら笑顔で言うがこらえるなみだ

加藤 麻里

雪降る日こたつに入りぬくぬくとみかんを食べる冬の醍醐味

伊藤 孝明

雪の夜ふと見た冬の空の色深し黒に浮かぶオリオン

遠藤由紀子

雪だるま作った人の夢詰まり作れるうちに夢詰めたいな

岩井ひかる

朝練で起きる疲さも消えてゆく雪の白さとしばれる空気が

木林 早希

白銀の世界に包まれ夢いっぱい足跡つけて夢に前進

山本 友美

祖母の家日に日に増える雪だるま帰るころには大家族

工藤 渚

冬終わり雪解けるころ新しき命が芽生え春近くなる

佐藤 燎

そういえばあんなこともあったねとみんなて笑える今の喜び

野沢 叔弘

出会いには二つの意味があるんだよ悲しい別れこれからの出会い

細越 大毅

あの時のいやな思い出今となり笑顔で話れる友との喜び

相田 玲歌

ストーブに皆手をかざし温まる身心ばかばか笑顔こぼれる

井上登紀子

窓を開け白くそまった街を見て踊る心で外に飛び出す

川田 仁美

冬になり外の景色は白くなり雪によるこぶ小さな子供

佐々木ゆい

雪が舞い北風歌う冬の詞次<sup>ことごと</sup>の詞には様舞いゆく

土屋 悠乃

夏の夜流れ星に願いごと夢見たあの日幼きあの日

中村 遙香

雨あがりふと外見ると虹架かり苦手な授業に気合いが入る

山田 絵里

# 川柳（一年）

電話持ち電話をさがすあせるばく

工藤 平

通知票ハラハラドキドキの一瞬

佐々木勇輝

暑いけど応援してるともつと熱い

西村正太郎

朝日出て光り輝く銀世界

石岡 宏規

卒業は大人へ近づく第一歩

荒野 梨沙

サントさん妹信じて待つている

蛸子 肖

窓際に風のぬけ道春風か

小笠原叶忠

人はみな自分の翼持っている

奥村 菜穂

お正月子どもの笑顔あふれだす

尾見 遙奈

サントさん財布の中は大丈夫？

佐藤 美咲

シャープペン書くたび書くたび芯が折れ

澤口 舞

入学は新たなことの第一歩

福井 伶奈

お母さん、まだバレてないよサントさん

細貝 友香

夕日がね僕らを赤く染めあげる

松代詩央里

汗涙みんなの力一つになる

安澤しおり

ペヨンジュン奥様方を一網打尽

渡辺 愛美

通知票わたすと親が鬼になる

岩館 陽介

通知票見るたび自分で反省会

岩宮 佳佑

一面に雪という名の夢の中

鍵主 佳飛

卒業を次につなげて成長だ

藤森 隆之

甲子園負けず嫌いのたまり場所

鄭 柄都

新学年体を感じる春の風

有本 晴香

雪景色外をのぞくともうそこに

小野寺桃花

やっぱりねテストの次の日暗い顔

島田亜由巳

反抗期いつもいやだと言いつけ

瀬川 彩奈

ふりむけば過ぎていくのは春の風

高木 咲枝

ヨソ様の出現するとこ花ざかり

東館まりん

部活あり洗濯機の中にぎわう日

外山 菜摘

雪景色とけたところから春の顔

中村菜津美

入学し友情という花開く

長谷 優

出会いと別れはいつも1セット

福島 華奈

通知票開ける前にはひと呼吸

藤原 愛理

夕日見てあの日あるとき思い出す

水島 綾

手より先冷たくなるのは鼻のとき

門傳 雪菜

足もとに聞こえてくる春の声

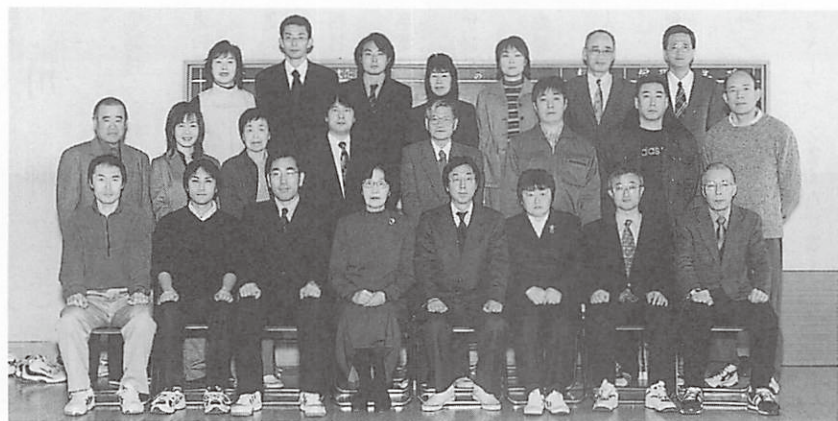
吉村 舞子

暗くなり見上げる空にオリオン座

波辺あかね

星無き夜輝くひとつの月明かり

波辺 清香



平成十六年度

# 教職員名簿

校長 田村 順子

教頭 青木 昌史

教諭 須藤誠一郎

木村 麻岐

小田桐 智

菊地 康幸

阿部 眞美

桑野 健一

南條 恵二

大山 裕香

石名坂克明

七宮 義通

日角 朱実

鶴 宗三郎

渡辺 淳

養護 武田 輝代

森 美絵子

相談員 笹原 五郎

マイケル・メッツァー

事務 相原 郁夫

事務 歩仁内里美

用務 高野 雄二

給食 高村 秀貴

日直 稲垣 良子

優 高島 優





## 編集後記

三年C組 荒田恵美

皆さん、今年の生徒会誌「五稜」はいかがでしたか。今皆さんの手元にある、この「五稜」には、皆さんの沢山の楽しい思い出など、色々なものがつまっています。この生徒会誌を作ったのは、編集委員ではなく「五稜」を読んでいる全校生徒一人一人がつくった、とても素晴らしいものだということを、ずっと覚えていてほしいです。

これから3年生は「受験」を乗り越え、新たな自分の道へと歩み始めます。自分の道を確かなものとするために、一歩一歩自分の足で進んでいかなくてはなりません。2年生は、いよいよ最高学年となり中学校生活最後の1年となります。1年生は、新入生の手本となるように、2年生という自覚と自分の行動に責任をもたなくてはなりません。これから先、悩んだり立ち止まったりすることが沢山あると思います。そんな時はこの「五稜」を見て、楽しかった思い出や友達と過ごした日々を振り返り、元気になって、自分の答えをじっくり見つけてみて下さい。

生徒会誌「五稜」の制作に協力して下さいました先生方・生徒の皆さん、有難うございました。この「五稜」が今後皆さんの役に立てば良いと思います☆



## 編集委員

△三年▽

荒田恵美  
岡本祐  
田中徳  
三浦花奈  
村山れいら  
中村良平  
金濱沙織  
小野祐介  
有櫛加代  
中村優平  
餌取弥悠

△一年▽

高木咲枝  
吉村舞子

△二年▽

相田玲歌  
干場亮佑  
佐々木ゆい  
工藤純一  
野沢叔弘  
中谷詩世  
林愛美



平成十六年度生徒会誌

「五 稜」 第44号

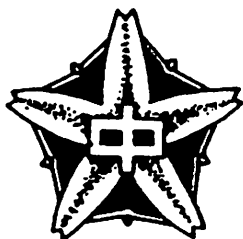
発行日 平成十七年三月十五日

発行 函館市立五稜中学校生徒会

印刷 有限会社 共立印刷

函館市吉川町六番六号

電話〇二八四三一七六五〇



函館市立五稜中学校生徒会